

平成29年

決算特別委員会

9月8日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

平成29年 9 月 8 日

午前10時00分 開議

午後 5 時07分 閉議

1. 出席委員

委員 長	三 浦 桂 司	副委員長	近 藤 善 人
委 員	富 永 秀 一	委 員	後 藤 学
委 員	郷右近 修	委 員	清 水 義 昭
委 員	近 藤 ひろひで	委 員	蟹 井 智 行
委 員	宮 本 英 彦	委 員	ふじえ 真理子
委 員	鵜 飼 貞 雄	委 員	近 藤 千 鶴
委 員	早 川 直 彦	委 員	山 盛 さちえ
委 員	杉 浦 光 男	委 員	村 山 金 敏
委 員	近 藤 郁 子		
議 長	月 岡 修 一		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石 川 晃 二	議 事 課 長	鈴 木 美智雄
庶務担当係長	長 野 直 之	議事担当係長	水 野 美 樹
議事課主事	荻 正 幸		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

副 市 長	坪 野 順 司	行政経営部長	石 川 順 一
市民生活部長	吉 井 徹 也	健康福祉部長	藤 井 和 久
経済建設部長	相 羽 喜 次	消 防 長	土 屋 正 典
経済建設部次長	岩 瀬 雅 哉	経済建設部次長	麻 生 亨
財 政 課 長	伊 藤 正 弘	市 民 課 長	服 部 英 俊
社会福祉課長	中 村 泰 正	高齢者福祉課長	小 川 正 寿
児童福祉課長	加 藤 育 子	指 導 保 育 士	樋 口 桂 子
保険医療課長	浅 井 俊 一	健康推進課長	二 宮 眞由美

産業振興課長	宇佐見 恭 裕	土 木 課 長	鈴 木 英 樹
都市計画課長	近 藤 潔	下 水 道 課 長	花 木 喜久治
環 境 課 長	相 羽 敏 明	会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	堀 井 浩 二
消防総務課長	稲 垣 聡	消 防 署 長	毛 受 淳 一
消防署南部出張所長	早 坂 和 彦	市 民 課 長 補 佐	有 川 尚 子
社会福祉課長補佐	岡 田 恵 子	高 齢 者 福 祉 課 長 補 佐	松 本 小 牧
高齢者福祉課長補佐	水 野 好 枝	児 童 福 祉 課 長 補 佐	深 草 広 治
児童福祉課長補佐	近 藤 有 紀 子	保 険 医 療 課 長 補 佐	伊 藤 克 代
健康推進課長補佐	川 原 静 恵	産 業 振 興 課 長 補 佐	石 川 悟
地域活性化推進室長	秋 永 亘 正	土 木 課 長 補 佐	加 藤 忠
土 木 課 長 補 佐	星 子 恭 士	都 市 計 画 課 長 補 佐	中 野 忠 之
市街地整備推進室長	河 北 裕 喜	下 水 道 課 長 補 佐	外 山 紀 元
環 境 課 長 補 佐	西 山 紳	環 境 課 長 補 佐	堅 田 直 寛
消防総務課長補佐	相 木 義 博	消 防 総 務 課 長 補 佐	羽 場 浩 一 郎
財政担当係長	萩 野 昭 久	防 災 担 当 係 長	寺 村 健 一
商工・観光担当係長	山 田 康 晴	地 域 活 性 化 推 進 担 当 係 長	塚 谷 友 昭
計画建築担当係長	北 川 宣 志	市 街 地 整 備 推 進 担 当 係 長	松 本 裕 介
監 査 委 員	古 橋 洋 一	監 査 委 員	毛 受 明 宏

5. 傍聴議員

一 色 美智子

6. 傍聴者

なし

午前10時開議

○決算特別委員長（三浦桂司議員） おはようございます。昨日に続いて大変御苦勞さまです。ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において傍聴の入室を許可いたします。

それでは、会議に入りますが、議長においては公務により退席していただきますので、よろしく願いいたします。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 本日、追加の資料をお願いしたいんですけども、よろしいでしょうか。内容につきましては総括のときに間に合えばと思うんですけども、28年度、各課係に職員が何人配置されていたか、それから、そのときの非常勤だとか再任用の方がそれぞれどのように配置されたかというものがわかる資料がいただきたいんですけども、お取り計らいをよろしく願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） この際ですのでほかに資料請求のある方はございますか。

後藤委員。

○後藤 学委員 順番。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 1つずつ、わかりました。

じゃ、山盛議員が総括に向けての資料請求がありましたので、いかが取り計らいましょう。当局は準備できますか。時間は、総括ですのでまだ結構時間があると思いますので。

○行政経営部長（石川順一君） 多分できると思いますので、用意をしたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 多分ですか。できるかできんか、できますね。

○行政経営部長（石川順一君） できます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） お諮りいたします。資料請求についてどういたしますか。賛成の方、異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） じゃ、山盛議員の資料請求についてはお願いいたします。

続いて、後藤委員。

○後藤 学委員 きょう、人件費の説明がありましたけれど……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これは総括ですか。

○後藤 学委員 はい、そうです。説明がありましたけれども、あそこに載っていない人

件費、きのう、報酬等が9億あるというようなお話もありましたけれども、総額では決算統計上は物件費に分類されておりますパートの賃金なんかも含めて私は人件費だと思いますので、そういったものをひっくるめて総額で幾らになるのか、その内訳のわかる資料をお願いしたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） それはパートも含めての総額、全ての金額ですか。

○後藤 学委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 今、後藤議員から資料請求がありましたが、当局においては用意できますか。総括までで結構です。

石川行政経営部長。

○行政経営部長（石川順一君） それは各課別ですかね。

○後藤 学委員 総額で結構です。

○行政経営部長（石川順一君） それでは、用意できます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） では、お諮りいたします。本委員会として資料請求することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） では、御異議なしと認めます。

じゃ、資料請求、よろしくをお願いします。

ほかに。

早川委員。これも総括ですね。

○早川直彦委員 総括でお願いしたいんですが、昨日、総務費のところの2款で入札の質問をしました。平成27年9月以降に変更があったやつを市のほうも分析したという答弁がきのうあったんですが、その中で市内とか市外の入札、また、市内の業者の入札の変化とか、多分、入札によっては高どまりのものもあれば、安くなるものも多分あると思います。入札の審査会で当然分析したものを公表していると思いますので、わかりやすいものでいいですので、そういう変化がどういうふうに変ったのかというまとめたものがあれば出していただきたいんですが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員、もう一度確認、入札全てですか。

○早川直彦委員 昨日、27年9月以降に入札制度を見直して、それを検証しましたと。市のほうで検証したと。検証したということは、入札の審査会でこういうふうに変ったという資料を出されていると思いますので、そういうまとめたものがあれば出していただきたいんですが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 9月以降の資料でいいですね。いいですね。

○早川直彦委員　そうです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　当局においては資料は用意できますか。

○財政課長（伊藤正弘君）　総括的に毎年の締め段階で入札結果を取りまとめているものは一応ございますので、そういったものでしたら、既存のもので活用して説明させていただけるのでしたら御用意できます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　早川委員、それで結構ですか。

○早川直彦委員　はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　じゃ、お諮りいたします。本委員会において今の資料請求をすることに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　御異議なしと認めます。

それでは、それぞれ総括までに資料の作成をよろしくお願いいたします。

それでは、認定議案第1号から認定議案第10号までを昨日同様、一括議題といたします。会議については、昨日同様、一般会計は款別、所管の部長等に説明を受けた後、質疑を行い、特別会計においては各会計別に進めます。一般会計の各款別の質疑終了後にここで総括質疑を行います。討論については特別会計の質疑の終了後に一括して行い、採決は認定議案の番号順に行いますので、よろしくをお願いします。

では、昨日の続き、3款　民生費の質疑から始めます。質疑のある方は挙手を願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君）　昨日、山盛議員から御質問いただいておりました沓掛保育園の屋根防水、外壁塗装工事について寿命がどれぐらい延びるかという御質問だったかと思いますが、この工事につきましては防水等の改修工事になりますので、寿命を延ばす工事という意味ではありません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　質疑のある方は挙手をお願いします。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　決算書の31ページ、児童クラブの件できのう少し質問をさせていただいたんですが、2点だけ確かめたいのでお聞きします。

決算書の31ページにあります児童クラブ室使用料1,724万円、入で入ってきております。予算額2,200万円余に対して500万円弱少なかったことの理由と、あと、資料要求した資料ナンバー5できのう見させていただいた中で、昨年度、要は入りたいたときにその児童クラブに入れなかった待機児童がいらっしまったかどうかということの2点をお願いします。

す。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、予算額のほうは581人で見込んでおります。夏休みの1カ月5,000円とその他の月は3,000円ですが、それに対して入は実績で8月が454名とその他の月は、延べですけど、4,990人で、月平均換算にすると453人分ぐらいになります。あと、予算のときには減免の人を見込んでいなかったのに対して決算では減免分68人がありますので、予算額よりも差が出た影響として、それも含まれると思います。

それと、資料ナンバーの489人というのは、昨日もお話しさせていただいたとおり、3月末の利用人数になっておりますが、3年生までについてはお断りしたケースはございません。4年生については定員がオーバーしているところについては若干お断りしたところがありますが、定員以上のところでは受け入れしているところもあります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどにもかかわってくるんですけど、実績報告書の181ページ、保育園の改修工事の沓掛保育園のことになります。先ほど、通常の改修工事でアセットとは関係ないというふうに言われましたが、額も最終的には3,000万と大きな額となりましたが、防水の関係の工事、最低でも10年はその防水や屋根の部分というのは大丈夫だということによろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 塗装の材料からすると約10年くらいはもつというふうには確認はしておりますが、先ほども申し上げましたように、寿命を延ばすという目的の工事ではありません。

以上です。

（もう一つ確認したいんですが、関連での声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 昨日も質問したんですが、この工事に関しては変更理由書が4枚ついていて4回まで設計変更があったんですが、たしか建物がもう60年でしたか、かなり古い建物で、実際、現場の屋根の材質を剥がしてみたりとか、実際にちょっと壊してみないとわからない部分もあったということで106%に上がったということによろしいんでしょうか。

やむを得なかったということによろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 昨日もお話しさせていただいたとおり、足場を組んでみて初めて発見できたという部分もありますので、やむを得ない増額でございました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 児童館の待機児童に関連したことでお伺いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数と資料を。

○山盛さちえ委員 実績報告書の52ページ、それから、先ほどの資料ナンバー5に関連してです。当初予算の歳入の見込みとしては581人分を見込み、減免分は含まずということ、実績としては453人ということではよかったでしょうか。581人に対して453人ではよかったでしょうか。減免分68人分ということですが、その分を差し引いたとしても歳入が500万円余減ったということは、純粹にというか、利用が減った、登録が減ったというふうにかがえませんが、その要因はどのように捉えていらっしゃいますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 実績の内訳は月平均にすると453人ということで、これは11カ月分です。夏休みは夏休みだけ申し込む方も若干おられますので、夏休みもほぼ一緒ですが、454人で、夏休みだけは5,000円になります。減免の68人分はこの中には当然入っておりません。

以上です。

（答弁になっていないの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 失礼しました。若干減っているのはやはり3,000円という利用額がふえたということも影響しているとは思いますが、これも昨日申し上げましたとおり、このことによって本当に必要な人が利用されているということで、その分4年生の利用枠も少しできると、そういうメリットもあるというふうに解釈しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要の42ページの下なのですが、放課後児童健全育成事業、当初予算額が4,800万余で決算額が4,700万余なのですが、これ、国からの支出金、県からの支出金、予算と決算がほぼほぼ同じぐらいなのですが、どうして国の支出金と県の支出金、多くいただけたのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 予算額のところでの計上が28年度から新たに委託しました8児童館分の委託料を計上しております。上の予算のところでは、その8児童クラブのみに関して国庫、県費という計上をしておりましたが、決算のところでは決算額の4,781万のところは児童クラブ、8児童館分になっておりますが、国庫と県費につきましては、こちらは民間の児童館部分とかが入っている額になりまして、金額自体の入の金額は間違っていないんですが、上と下とで少し整合性がなかったということでは、これは申しわけございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 今のところで、じゃ、8つの委託分の国の支出金と県の支出金の額、8つだけだとどうなるんですか。上の予算と合わせて考えるとどうなりますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 8児童館分に換算しますと、国庫と県費、それぞれ1,102万8,000円になります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） それぞれ。

○児童福祉課長（加藤育子君） 同じ金額です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 国庫と県費が同じ金額でよろしいですか。

○児童福祉課長（加藤育子君） はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） わかりました。

ほかにございますか。

近藤千鶴議員。

○近藤千鶴委員 決算の概要の43ページの不妊治療助成事業についてお願いします。成果のところ申請者52人中、助成額5万円超えは20人とありますが、ここの説明をもう少し詳しくお願いいたします。

(4款と違うかの声あり)

○近藤千鶴委員 済みません。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の55ページで臨時福祉給金について、下に支給人数は書いてあるんですが、対象人数を教えてください。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 済みません、何ページ。

○近藤郁子委員 55ページ。実績報告書ですね。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 中村社会福祉課長、答弁願います。

○社会福祉課長(中村泰正君) 対象者は1万386人に対象と思われる方に送付をしております。

終わります。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの放課後児童教室とか、児童館の関係ですが……。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 資料5です、資料5。

○山盛さちえ委員 52ページです。児童館の関係ですが、指定管理、あるいは民間委託したことによって国や県からの補助金の額に違いは生じるのでしょうか。生じていたのでしょうか。それから、民間委託とか指定管理する前と後とで総コストについてはどのような状況になったか、教えてください。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長(加藤育子君) 8児童クラブを委託したことによってその委託料が発生しておりますので、それが補助対象となっております。先ほどのところ、決算の概要のところでもお示ししたとおり、国庫支出金と県支出金について入のほうも多くなっておりますので、昨年度と比較しても増額となっております。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 山盛委員。

○山盛さちえ委員 なので、民間に委託したことによって補助金がふえているなら、どのくらいふえたということと、それから、豊明市が民間委託して管理したことによってコストがどうふえた、減ったかによって全体の事業費として経済効果がどのくらい出たかということを確認したいので、数字でお答えいただくとありがたいんですけど。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 効果ですね。

○山盛さちえ委員 経済的効果です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 申しわけございません、加藤課長、もう少し手を高く挙げていただけると。申しわけございません、ここはちょうど見えない位置になっておりますので、浅井課長と加藤課長は本当に申しわけございません、指名を間違えたら御承知おき願いたいと思います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 申しわけございません、先ほど児童クラブのことでお答えしました指定管理のことでお答えいたします。児童館の指定管理が5館分、債務負担行為という形で、7館分ですね、債務負担行為ということで金額が9,650万という金額を上限額として、限度額という形で予算を持っております。それに対してプロポーザル等で決定した結果ということで、28年度協定額としてはその上限額に対して9,567万5,000円という金額になっておりますので、コスト面で指定管理をしたからといって特別財政的に大きなプラス効果になっているということではなくて、直営でやっているときよりも民間の力を利用することによって運営のところでいろいろな効果が出ているというふうに解釈しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 とすると、今の運営面の効果というのがどういったものがあるんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。運営面の効果です。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、2年目になっている指定管理事業者については、28年度はパラリンピックに出ている障がい者のアスリートを呼んで、卓球大会という形で市内全域の人を対象にしたイベントを行ってもらいました。それと、あと、28年度に新たに開始したところでも、例えばサイエンスイベントということで割れないしゃぼん玉づくりであったりとか、ピオラ演奏であったりだとか、あと、リズム体操等ということで、公設公営ではなかなかその館の特徴ということが生かし切れなかった分が3業者が入ることによってそれぞれのカラーでいろんなイベントが開催されたというところです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 指定管理を受けている事業者が漏れなくそれぞれに工夫されたという

ことでよかったですか。やったところ、やらないところがあったかどうか確認させてください。

それから、放課後の児童クラブのほうについても、コスト面について先ほどの補助金も含めてですが、影響があれば、プラス効果の額についてお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。児童クラブをあわせてお願いします。加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、事業の内容については、それぞれの事業所がそれぞれ工夫しているということで、以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 児童館もそうですか。児童クラブか。

○児童福祉課長（加藤育子君） 児童クラブが入っている経費についてですが、指定管理をしている業者にあわせて委託をお願いしているので、なかなか児童クラブだけのという形での経費の算出ということは難しいんですけど、児童クラブについても債務負担行為という限度額の中でやっていただいているということで、それぞれの年度契約の中でやっていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 児童館の事業と児童クラブと基本的には別だと思うんです。補助金も別立てで出てきていると思うので、受託先が仮に同じだったとしても、それを総トータルで評価するというのはそれぞれの事業についての議会としての判断がしづらいので、分けられないんですか。これとして幾ら、これとして幾らというふうに指定管理なり委託の契約額というものは分けられない、それと入のほうとの関係があるので。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） それぞれの児童クラブについて債務負担行為という形で上限額が決まっておりますので、その金額はあります。その金額以内で……。

（発言する者あり）

○児童福祉課長（加藤育子君） では、金額を申し上げます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算なので支払った額は決算書に出てきていると思うんですけども、実際、入と出の関係で児童館の部分については経済的なコストの効果はないということだったんですが、放課後児童健全育成事業の部分についての経済的効果はあるのかないのか

というのを伺いたないので、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 児童クラブの部分についてもほとんどが人件費という形になりますので、先ほどから申し上げていますように、債務負担行為の限度額とほぼ同じの契約という形になっておりますので、経費としては委託をしたからといって特に大きな削減という形ではないです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、今度はサービスの質というか、運営効果、先ほど児童館のほうでお示しいただきましたが、そういったようなことが児童クラブのほうにも見えたら、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 児童クラブというのは子どもを安全に預かるという目的でありますので、児童館のように特にイベントという形ではやっていないですが、アンケート等も利用者アンケート等をとっておりますので、そういったところでもおおむねは好評を得ていると、そういった状況になっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 ということになると、児童クラブのほうの利用が予算の歳入の見込みよりも少なかったというのは、サービスの問題ではなく、見込みが甘かったか、あるいは有料化の原因かということになってくるんですが、それはどのように捉えていらっしゃいますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほどの利用者人数のところでも少しお話ししましたが、やはり3,000円を取っていることで若干の減少には実際的にはなっているのは事実ですが、それによって本当に必要な人が利用していると。それと、先ほども申し上げた4年生も利用できる枠が少し出てきたと、そういったところでの効果があると思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今の放課後児童健全育成事業についてで、先ほど、決算概要の42ページの下のところ、下の表のうち下のほうの国庫支出金と県支出金が11028になるというふうにおっしゃったんですけど、一般財源のほうはこのままで大丈夫ですか。それに合う数字を決算書でどこに当たるのかなと思ったら、放課後児童健全育成事業補助金というのが123ページのところに733万7,000円というのがあるんですけど、どれを合わせれば1,429万5,000円になるのかなと思って、ちょっとよくわからなかったんですけど、この数字はそのままで合っていますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、決算の概要の42ページのところですが、先ほど、一般財源のところの数字を申し上げなくて失礼いたしました。一般財源ももちろん変わりますので、2,576万2,000円になります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 数字をもう少しゆっくり。

○児童福祉課長（加藤育子君） 25,762になります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じ42ページですけれども、放課後児童健全育成事業の国、県の補助金が予算どおり決算の数字、下の枠が間違っていたということですが、当初の予算の見込みのときに、これは民間委託かな、民間委託する前と国や県からの補助額、補助率というのは変わらないのでしょうか。もし委託することでここがふえていたら若干コストメリットがあるかなと思ったんですけど、委託前と後との違いについて、もし違いがあるようなら示してください。

それから、下のところに成果、課題というところに民間事業者のノウハウを生かしたサービスを提供するとともにというふうにかかれているんですが、今の話だと放課後健全育成事業、児童クラブについてはそういったことはないと言われたんですが、そうすると報告とちょっと違うんですが、もう一度お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 国庫と県費の補助率は3分の1ということで、こちらは変わりはありません。

それと、成果のところですが、児童館と併設で児童クラブをやっているところについて

は、当然、児童館が主催する事業のところにも参加できるということで、そういったメリットはあると思います。ただ、小学校3カ所については児童クラブのみということになっておりますので、児童クラブのイベント等ということでは少し切り離されると思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の恐らく53、54あたりになると思うんですが、実績が上がっていないのでちょっとお聞きしたいんですけども、一時保育というのをやっていると思うんですか、こちらのほうの実績、それと、一時保育をお断りしたようなことがありましたでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

○児童福祉課長（加藤育子君） お待ちください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかに3款でございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 先ほど伺いました実績報告書55ページの臨時福祉給付金のことなんですけれども、予算から決算を見ますと500万弱まだ残っているんですが、先ほど人数を伺いましたのは、できるだけたくさんの方にこれを申請していただけるものだというふうには思っていたんですが、下に書いてある高齢者向け臨時福祉給付金とその下のそれぞれの給付金についての対象者と支給人数がわかればありがたいなと思うんですが、わかりますでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 臨時福祉給付金につきましては、先ほど申し上げました1万386人が対象と思われるということでそれぞれ送っております。それから、下の障害遺族年金受給者向けにつきましては、別に293名の方に申請書を送付しております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の53ページと決算書の125ページ、保育園の長時間保育の業務、短時間のパートの方やフルパートの方についてちょっとお聞かせください。たしか昨年、求人広告なんかにフルパートさんや短時間のパートさんの募集をしていたと思います。人数が少ないということで募集をずっとかけていたと思うんですが、現状、28年度は実際、

目的としていた人数を確保できていたのか。できていなくて、短時間のパートの方やフルパートの方に、例えば以前だったら3時間で短時間の方は勤務していただいたのを4時間に延長してもらって対応したというの聞いたことがあるんですが、そういうふうにパートの方に御無理を言って運営している状況が28年にあったのかというのを確認したいのでお聞きします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 毎月職員の変動がありますので、4月1日現在で人数をお答えいたします。フルパートというのが7.5時間働いてもらっている方が27年、28年はさほど変わりはありません。ただ、短時間勤務とって4時間勤務の方が27年度は4名でした。28年度が35名、この意味はフルタイムの7.5時間の保育士を確保できませんでした。そのため、4時間勤務の方をこの人数に宛てがいましたので、フルパートをもう少し確保しなかったという現状です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 28年度に関しては短時間の4時間の方を4人から35にふやして、フルパートの方が少なくとも何とか回ったということなのか、4時間の短時間のパートの方も御無理を言って4時間半とか、残業時間というか、勤務の時間を長くしてもらって無理をしていたかしながら運用したのか、その辺をもうちょっと詳しく教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） そもそも7.5時間働くということが無理な方で4時間働かせてほしいという方がこの人数であります。ただ、扶養内ということですので、なるべく御無理は言わないつもりではありましたが、保育の内容によっては時間外ということで少し御無理を言ったのはあります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 先ほどの臨時福祉給付金のことなんですけれども……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） もう一度ページ数をお示してください。

○近藤郁子委員 実績報告書の55ページです。人数がちょっと理解できないので、ごめんなさい、もう一回質問するんですけれども、高齢者向きの臨時福祉給付金の対象者が1万386人、下が障害遺族年金受給者向け臨時福祉給付金の対象者が293名、支給者の人数が

横に載っているのです、293名の受給者では6,442人は考えられなくて、1万386人というのは高齢者向けと、それと、28年度臨時福祉給付金を足した人数なんではないでしょうか。このように、済みません、事業別に人数が書いてあるので、事業別の人数に合わせた対象者を教えていただくとわかりやすいと思うんですけど、お願いできますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） それでは、一番上の高齢者向け臨時福祉給付金は65歳以上の方が対象ですので、先ほど1万386名と言ったんですが、そのうちの8,500名がおおむね対象であると。それから、その下の28年度臨時福祉給付金というのは、これは年齢に関係なく非課税の方ということになりますので、ここの部分がいわゆる1万386名です。それから、その後の障害遺族というのは293名という形になります。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどの質問の続きの確認なんですが……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数をもう一回お願いします。

○早川直彦委員 53ページの保育園費のフルパートと短時間のパートの確認なんですが、フルパートの方にも短時間の4時間の方にも無理を言って時間を延長してもらった。両方のほうに、フルパートの方は7.5時間を超えないようにずっと勤務してもらっているのか。その辺、両方の方に若干無理があったのかというのは、お願いをしたというのはわかるでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） フルパートの7.5時間の方には無理は言っておりません。ただ、行事の運動会とか、忙しい時期にはお願いしたこともあります。4時間勤務の短時間勤務の方には無理を言っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の28、29、11款の分担金、負担金の保育園運営費負担金についてお伺いいたします。予算のときには2億9,900万、約3億円という予定でしたが、調定額が3億3,600万ということで3,600万ほど保育園費がふえているということになりますが、

不納欠損と収入未済額はちょっと別として、保育園に通われた人数がふえたのか、所得の高い人がふえたのか。もし人数がふえたとすれば、どういったところの部分がふえたのか、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 人数的には約50人分ふえている形になります。それと、保育料につきましても1人当たりの平均でいうと平成27年度が2万800円ぐらいでしたが、平成28年度については2万1,400円と、それぐらいになっていますので、どの階層が何人ふえたというところの細かい数字までは持っていないんですけど、平均して上がっていると、そういった結果がこういう増額につながっていると思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 50人、入園者がふえたということは、年度の途中から小規模がふえたりとかしていると思うんですが、あとは年齢の小さい子とか、保育園の待機児のことがかなり問題になっている28年度において、見込みより入園された人が50人ふえたということがちょっとわかりにくいので、もう一度、その50人がどのようにふえたのかということについて説明してください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、ここには小規模保育事業所の保育料は含まれておりません。あと、保育園も必ず4月から1年間入っているお子さんばかりじゃなくて、途中で入ったり退園したりということで出入りがありますので、その平均というか、トータルの延べの利用月という形で換算した場合には587月の増という形になります。これを12月で割って平均すると約50人分というふうな、先ほど50人と申し上げたのはそれになります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。同じ質問を続けたいので、飛び飛びになるといけませんので、関連があるときは関連の質問をお願いします。協力のほどよろしくをお願いします。ほかにございませんか。関連の方はよろしいですか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 実績報告書の126ページ、老人福祉ですが、老人福祉の一番下の電算関係

委託料というのが2つありまして、69万1,200円と26万8,326円、この2つがあつて、今度、こっちの決算書のほうをずっと先ほどから一生懸命探しておったんですが、決算書の老人福祉は110ページからずっとありますよね。もっと前から。108ページから、108、110、111、112とあるんですが、先ほどの実績報告書の電算関係委託料が何かということと、この決算書のどこに出てくるのかなと思って必死で探しておりましたが、ちょっとわかりませんでした。どこに出てくるかということと何かということをお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） まず、どこに載っておるかということですが、113ページの……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 何の113ページですか。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 決算書のほうのどこに載っておるかというお話でしたので、113ページの電算関係委託料95万9,526円のところが該当になります。よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 何に使ったかというようなことなんですが、こちらは確定申告の障害者控除なんですけど、要介護者の方が控除を受けれるということで、今まで申し出のある方には証明書を発行しておったんですが、該当者にはこちらから控除の認定書というのを発行したものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 臨時福祉給付金の実績報告書の55ページの下欄ですけれど、先ほど近藤郁子委員からの質問の続きのような感じなんですけれど、まず、この臨時福祉給付金というのは消費税が引き上げられたことによって低所得者の皆さん方への負担軽減の措置だと思ふんです。まず、この給付金の軍資金といいますか、これ、全部一般会計なんですか。あるいは、国からの交付金、あるいは先ほどの地方消費税の交付金の充当の中に入っているのか、そこら辺の原資がまず1点、それと、先ほど、例えば高齢者福祉向け臨時福祉給付金の対象者は約8,500人で支給人数が4,166人で実績1億2,400とあるんですけれど、というのは、8,500人、対象者はいるんだけど、4,166人しか申請をしなかったと。本当はもらえる権利があるけど、あとの三千どんだけ、約4,000人近くが、4,000人ちょっとはこのことを知らなかったというか、放棄したと、そういう意味合いなのか、まず2点に

ついてお伺いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） まず、1点目の臨時福祉給付金につきましては全額国庫補助金で賄われるというものでございます。

それから、2点目の8,500名というのは高齢者の方で非課税という方がおおむね8,500名ぐらいいるということなんですが、中には当然、健康保険のどなたかの扶養に入っているとか、そういったことで該当しない方もかなりその中には見られるということで、結果的に4,166名の方が申請をされているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 先ほどの説明だと、上の8,500人というのは65歳以上の方の対象というふうに説明を受けたんですけど、今の説明だと非課税ということが1つ入っておったんですけど、その非課税というのは下の欄じゃないんですか。臨時福祉給付金の対象者が非課税で、これは年齢枠がないよと。非課税の対象で1万386人中6,442人ですよ。したがって、上のほうは65歳以上であれば誰でも対象になるのが8,500と、そういう意味じゃないんですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 臨時福祉給付金につきましては全て非課税の方、それから、課税されている方に扶養をされていないということが対象になります。それから、8,500名というのは、私どものほうで誰がもらえるかというのを全て把握できません。ですので、ある程度、非課税でももらえる可能性があるんじゃないかという方が8,500名という把握で、その方たちに一斉に通知を送ったということです。当然、受けられた方の中で最初からもうもらえないと思ってみえる方は申請されないという形になると思います。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほど、清水委員から御質問をいただいております一時保育のことについてお答えさせていただきます。利用者は実人数で746名、実績報告書の54ページです。お断りした人がいるかということにつきましては、そういったことはご

ございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 確認しますけれども、一時保育の中でも緊急保育と非定型保育と、あと、私的理由保育があるんですが、緊急保育の中でもお断りしたケースはなかったということ
でいいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） なかったです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 昨年もお伺いしたことですけれども、実績報告書の56ページ、国民年金事務取扱費のところでお尋ねをします。決算額2,467万ほどになっておりますけれども、決算書の41ページの歳入のほうを見ますと、一番上ですけれども、国民年金事務取扱委託費ということで1,120万9,000円、国のほうから入ってきています。41ページの一番上です。それで、同じく決算書の133ページの国民年金事務取扱費を見ると人件費がほとんどなんです。それで、これは法定受託事務ですので、1,120万9,000円を国からいただいた中で基本的にはやっていかなきゃいけない事務なんだけれども、実際には2,467万かかっているということで、国の委託費の範囲でおさめる工夫は何かされたのでしょうか。それから、もしおさまらないとすれば、国に対して必要な額をちゃんと払ってもらうような、そういう要求というのはしておるのかどうなのか。その辺をお伺いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

浅井保険医療課長。

○保険医療課長（浅井俊一君） これも昨年と同じようなお答えになってしまうかと思いますが、国民年金の事務取扱費の中の人件費につきましてはほとんど兼務をしている職員がおりますので、これが全て年金の事務に携わっているわけではないと。会計上どうしてもこういう形で分けてしまうということになっておりますので、実際、人件費分としては今回800万ぐらいというところの算定として最終的にはおりますので、そのあたりとしてはある程度差はあるかもしれませんが、ほぼ国の負担額の中でやっているのではないかという判断はしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書54ページ、給食業務委託事業です。業務委託される前、保育所では市の直接雇用で給食担当の職員の方が働いていたのではないかと思います。そのときの賃金と委託直後に一旦それまでの賃金よりも下がったんじゃないかなというふうに思うんですけど、そのときの直後の賃金と現在どういうふうな賃金になっているかというのがわかったらお答えいただきたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 委託業務につきましては、賃金の1時間単価を幾らに設定すると、そういった委託内容ではなくて、給食の食数で仕様書をつくっております。ただ、プロポーザルを実施するに当たって実際に市の非常勤の方々が時間当たり幾らで働いているかと、そういった情報提供はしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。山盛委員。

○山盛さちえ委員 給食業務委託の当初予算だと7,680万円ぐらいとっていたんですが、決算額は5,800万円ぐらいということでかなり減額されています。1園平均を計算すると、予算だと6園なので1,280万円ぐらい平均の予定が今の決算の5,800万円からいくと968万円ということでかなり減ってしまうわけです。今の積算の方法ということになるとかなり減額なんですけど、これでそこで働かされている調理員さんの給与というか、待遇というか、そんなのがきちっと委託前と比べて確保されているというふうにお考えでしょうか。その辺の確認はされましたでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、予算で計上しました7,680万につきましては、これは実施計画を上げる時点で既に委託している業者から参考見積もりという形でいただいておりますので、実際に28年度に委託になった3園につきましては直営でやっていたときの給料を参考にして、その1.06倍であるとか、若干そういった形での積算で見積もりをいただいております。それに対してプロポーザルを実施するときにはさらに詳細の見積もりをいただいて、設計額の時点ではかなり調整された人件費になっております。その設計額の範囲内で契約した金額ということで、実際には5,800ぐらいになっております。

人件費につきましては、ほとんどが人件費に当たるわけなんですけど……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 時間がかかりますか。

○児童福祉課長（加藤育子君） 人件費のところはちょっと確認させていただきます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の47ページ、真ん中あたりの特別障害者手当の支給なんですけど、まず最初に確認させていただきたいんですが、真ん中の表の心身手帳1から2級一部かつIQ20以下の合併症、これは月額3万3,470円を10人にお支払いしたということによろしいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） はい、そのとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございせんか。

関連ですね。清水委員。

○清水義昭委員 県のほうのガイドライン、これは国の制度金と県の制度金をお支払いするという事になっていると思うんですが、そちらのほうの28年度のガイドブックを見ますと、IQが35以下で、かつ月額が3万3,680円になっていると思うんですが、差額の210円がどこに行ってしまったのか。それと、IQ20以上で35以下の方へのお支払いはあったのか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） まず、この差額につきましては、これは毎年改定されておりますので、今現在、ここで3万3,470円と表示している金額はその当時の金額を表示させていただいておるといふものでございます。

それから、2点目のIQの20以上35以下につきましては、ちょっと後ほど回答させていただきます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 当時のものを載せているということなんですけど、28年度のガイドブックのほうで金額が違っているんですけど、どういうことかということなんです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

○社会福祉課長（中村泰正君） 確認させてください。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の46ページ、先ほどのページの左側です。高齢者福祉の関係です。高齢者の関係ですけれど、高齢者の外出支援事業で65歳以上の在宅高齢者でバス、電車等の交通機関を利用することが困難な方に対する利用券ということなんですけれど、まず1点目、聞きたいんですけれど、困難なということは何をもって判断されているかということと、あと、交付者が191人で事業費が196万660円で1人あたりに換算すると1万265円になるんですね。1万265円をタクシーを利用することに使用されたと、そういう理解でいいかどうか、まずこの点についてお伺いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） まず、対象要件でございますが、65歳以上で在宅で要支援、要介護認定者であり、市民税非課税世帯の方ということが対象になっております。こちらはタクシーの初乗りを補助するという事業でございますので、全てタクシーの初乗りの分を補助しております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですね。宮本委員。

○宮本英彦委員 初乗りの方だけが対象、その方が……。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 質疑を続けてください。

○宮本英彦委員 初乗り料金だけが対象なんだよね。そうすると、1人頭1万265円というのはどういうふうに理解したらいいんですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

小川課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 1カ月、対象者には4枚、年間48枚を交付して、そのうち使った分がこちらになるという決算になっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 年間で48枚配っているんですか。実際48枚利用されているのか、それよりも少ないのかというのは把握されているんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

小川課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 済みません、お時間をいただきたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほどの答弁の続きになりますが、給食費の委託の件です。直営でやっているときの経費は9割以上が人件費という形に……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） もう少しマイクに近づけてお願いします。誰に対するの回答ですか。それもあわせてお願いします。

○児童福祉課長（加藤育子君） 済みません、給食費の委託のことです。実績報告書の54ページの給食業務委託について、先ほどの続きでお答えさせていただきます。

直営でやっているときの経費の場合は人件費がほぼ9割を占めておりましたが、委託契約をしたときには人件費が7割、8割ぐらいになっています。ただ、先ほど申し上げましたように、プロポーザルの段階で一応市が雇い上げている時間単価という提供はしておりますが、この委託契約に当たっての仕様書については人件費の時間単価を規定しているものではありませんので、人件費については業者の裁量という形になると思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ということになると、委託になって当初の予算というか、参考見積もりのときよりもプロポーザルで大きく下がって、契約結果が5,800万、1園当たり1,000万を平均切るということになってくると、当然、人件費を減らさないことにはやっていかれないんですけれども、数字が成り立たないんですが、直営のときよりも時間単価、あるいは給与が下がったというふうに判断するしかないと思うんですが、それで間違いないですか。

それと、あわせて、人の入れかわり、雇われた方が続かなくて途中で入れかわったような実態があったかどうかということについては調査されたでしょうか。実態を教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほども申し上げましたこの委託の内容について、仕様書は給食数の食数でやっております。ですから、その食数がきちんと提供されれば、若い賃金の安い人を雇うとか、その辺は業者の裁量になるかと思います。直営でやっているころよりも経費としては市にとっては約750万ぐらい浮いたという形になります。

あと、人の動きについてですが、委託をするときに職員がどういうふうに動いたかとい

うふうで、魚国のほうに3人動いた人はおります。その3人については途中でやめたというふうには聞いてはおりませんが、一応念のために確認はしておきます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 関連ですか。富永委員。

○富永秀一委員 今回、プロポーザルということなので、たしかその業者は給食だけじゃなくて、いろんなものもつくっている業者かなと思うんですけど、自分がぐっと下がった数字を見たときに思ったのは、給食だけじゃなくて、いろんな業務もやる職員を使うからそれだけ下げられるんですということがプロポーザルのときに提案とかがあったのかなと思ったんですが、そういう提案があって安心して安くても大丈夫ということになったのかなと想像していたんですが、そういう説明はありましたか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） プロポーザルになる前に実際に非常勤で働いている職員に業者のほうからの説明もあったというふうで聞いております。業者のほうの問い合わせ等についても問い合わせ先の情報提供はしているということで、当然、業者に移った3名については納得の上で移行されているというふうで解釈しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 関連ですか。山盛委員。

○山盛さちえ委員 この業務委託の中に食材、あるいは調味料とか、そういった部分についての、食材や調味料等についての委託もこの業務の中に入っていますでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） そういった細かいところは確認させていただきますが、一応、食数という形での仕様書になっておりますので、御理解いただきたいと思えます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 5,800万円は全て人件費、管理費の部分だけなのか、食材の賄いの購入費も入っているのかどうかということが今わからないということですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 経費の中に教育費だとか衛生費、消耗品等入っておりますので、そういったものも含まれていると……。

(食材も。食材は入っていないねの声あり)

○児童福祉課長(加藤育子君) ごめんなさい、失礼いたしました。賄い材料については市が直営でやっておりますので、消耗品の中には調味料等はありません。

以上です。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 職員に申し上げますが、回答を明確にして簡潔に答弁していただけるようお願いいたします。

ここで10分間の休憩をいたします。

午前 1 1 時 6 分休憩

午前 1 1 時 1 6 分再開

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

近藤ひろひで委員より所用において午前中出席できない旨の申し出がありましたので、お知らせいたします。

先ほど職員各位にもお願いをしておきましたが、議員各位においても28年度決算の認定にかかわる質問に徹していただくよう御協力のほどよろしくお願いいたします。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長(小川正寿君) 先ほど早川委員のほうから、実績報告書46ページの高齢者外出支援事業について、48枚全て使い切った人数についての御質問がございました。これについては実際に把握はできておりませんで、平均しますと約20枚ぐらい、お一人の方が使われているということがございます。

以上でございます。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 早川委員。

○早川直彦委員 48枚というと、半分ぐらいしか平均使われていないということは人数と実際が合っていないのか、そういうのも把握しているのでしょうか。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

小川課長。

○高齢者福祉課長(小川正寿君) 使われる方の事情によってそれぞれですので、実際に全部使われている方ももちろんあるかと思えますし、本当に数枚しか使われていない方もあるかと思えますので、そのところは48枚が適当かどうかというところはなかなか判断が難しいところではありますが、今はこの枚数で実施させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の44ページ、民生費県補助金の生活保護費補助金、民生費県補助金の中で一番下の6と書いてあるところですね。予算は109万7,000円あるんですけど、実際に実績はゼロということなんですけど、前の年も153万1,000円の予算で24万しか使われていないんですけど、細かい数字の予算になっているのでちゃんと根拠があつての数字だとは思いますが、ゼロとなっているのはどういった事情でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） こちらにつきましては、大変申しわけございませんが、就労相談員の給与100%に該当する補助に当たるんですが、実はこの部分がこの決算書の37ページの13款2項2目3節の生活保護費補助金の中の一番上、生活困窮者就労準備支援事業等補助金の中に組み込まれておりますので、国庫補助金のほうに変更となりましたので、こちらのほうの県補助金につきましては収入はゼロということになっております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 つまり県からではなく、全額その分は国から出ることに制度が変わったということですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） はい、そのとおりでございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の54ページ、病後児保育事業について伺います。利用児童数の66人が延べ人数なのかということと、それと、例えば風邪だとか、そういったことは集中して起こり得ることだと思うんですけども、保育室がいっぱいになってお断りになったようなことがあるかないか、それも教えていただけるとありがたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） それはございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

(延べ人数かどうかの声あり)

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 66は利用延べ人数でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの私の給食業務委託のところの人件費が下がったというふうに数字から読み取れるんですが、人の入れかわりがあったかどうかについては確認していただけなのかどうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 民間に移った3人は現在も継続しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 民間にじゃなくて、6園に調理員が配置されているわけですから、全体として入れかわりがあったかどうかということのほうが逆に重要なんです、3人ではなくて。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願いますが、決算の認定にかかわる質問に徹してもらおうようよろしくお願いいたします。答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 27年度から28年度の調理員さんのほうの人数を言います。調理員の正職が4名マイナスになりました。その4名の方は、正職4名は退職されました。調理員のフルパートの方が10名から5名でマイナス5名なんです、4名の方が退職され、もう一人の方は他市へ異動になりました。パートのほうでマイナス4名が先ほどの話で委託業者のほうに3名、それから、退職が1名で、以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

(関連ですの声あり)

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 要するに、委託先から派遣されている調理員さんの定着度というのを確認したかったんですけど……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 今の数字でわかりませんか。

○山盛さちえ委員 それは全体で直営の部分も合わせて言われたと思うので、そうですよ

ね。正職4名、退職というのはそういうことですよ。だから、魚国さんの部分でいうと何人中何人が入れかわったということになるのか、もう一度、済みません、お願いします。

それと関連してなんですが、児童クラブとか児童館についても人の入れかわりがあったかどうかということについて確認されたかどうかだけで結構ですので、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 済みません、質問の確認をさせていただきます。調理員の委託業務、調理員の異動のことでしょうか。

○山盛さちえ委員 そうです。委託の部分です。

○指導保育士（樋口桂子君） 委託の部分ですね。

○山盛さちえ委員 それから、児童館、児童クラブについても確認したかどうか、そういうことを承知しているかどうかという点だけで結構ですので、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

○指導保育士（樋口桂子君） しばらくお時間を下さい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の130ページの3項 生活保護費の中の生活困窮者世帯の子どもに対する学習等支援業務336万円、概要の42ページの上にもあるんですが、学力向上以外に概要のほうに参加者からのいじめや家庭内暴力等の相談に応じますとあります。そういった学力、勉強以外にこういった相談があったかどうか。あったならば、学校やそういう適切な相談機関にどのようにつなげていかれたのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 学習支援に関する相談件数が年間で6件ございました。いじめとか虐待等については相談はなかったんですが、学習の相談、いわゆる内申点といわゆる受験を迎えた保護者からの相談が4件、それから、その他受験に関することが1件、それから、この学習支援の中で使う教材についての相談1件の合計6件の相談がありました。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。今の関連。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 今のところの関連で、予算と決算がほぼ同額なんですけど、この小中学

生、小学生20名、中学生45名とありますが、この人数はちょうど予算どおりだったのか、お断りした方があったのか、状況をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 当初、募集の定員としまして小中それぞれ50名ずつを想定しておりましたが、結果として65名の参加にとどまったというものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほど、児童クラブ等に移行した人がやめられたかどうかというところですが、確認したところ、やめた人はございません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の114、115のところですが、心身障害者福祉費の真ん中よりちょっと下、3分の2ぐらいのところですが、成年後見人等報酬費用助成金、これが4.7倍になっているんですが、前の年と比べて。利用が増加した要因があれば教えてください。工夫したことがあるのかどうか。成年後見人がふえるというのは詐欺などを防ぐとかいう意味でもいいことだと思いますので、工夫があったのかどうか。また、人数だとか、件数だとか、前の年と比べられる何か数字があれば教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） こちらにつきましては、この84万8,000円は3件が該当しております。内容としましては、後見人が必要ではないかという方がいたときに、基本的にこのお金というのは本人が払うと。それから、親族後見の場合はもちろん親族が負担する。それから、本人が払えれば払うんですが、非常に困窮状態で本人が負担できないといったときにどなたか弁護士の方等々に後見人になっていただいて、その実績を裁判所のほうに出して、そうしますと、その結果、裁判所のほうからこのような活動をしたから幾らぐらいが相当ですよというような結果が来ますので、それに基づいて私どものほうの方がお支払いをするということになります。

以上で終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員。

○富永秀一委員 前の年と、今3件というお話、多分28年度の話だと思いますが、27年は何件だったとか、比較できる形でもし27の数字もあれば教えていただきたいです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） しばらくお待ちください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 先ほどの清水委員に対する答弁もまだですが、これもまだですか。

○社会福祉課長（中村泰正君） そうです。お待ちください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） わかりました。

ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の48ページ、基幹相談支援センター委託事業について聞かせてください。これは実績報告書の127ページの下にも2,033万、社協に委託している形になっております。いろんな相談のある中で就業に関する部分も多分受け付けているのかなと思うんですが、就業相談に対して基幹相談支援センターはどれぐらい相談を受けているのか、実際にAとか、Bとか、就労支援とか、移行支援とか、そういう部分につながっているのか、そういう就業相談が。その辺を確認したいのでお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願いますが、簡潔にお願いします。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） この基幹につきましては、就労に関する相談が28年度、346件ございました。これは主には本人が働けるのかどうかとかといったような相談、それから、今現在働いている方がその職場での相談等々が主なものでございます。それから、今御指摘のありましたB型就労所ですとか、そういったところへのつながりはどうなっているかという点ですが、詳細の件数はわかりませんが、もちろん市内の事業所等々と連携をして、必要であればそちらのほうにつないでいるということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じく上のところに通所者の状況ですか、Aとか、Bとか、人数、市内のものも市外もあるんですが、市内のものが書いてあるんですが、そういう働いている方の、事業所の働いている方の相談も多分合うとか、合わないとか、そういう相談も受けて市内の事業所さんの、例えば市内の事業所だったらこういう相談があるんだけど、利用者

さんからそういうのも受けているんですかね。そういうことにも活用されているんですか。相談があったことをただ聞いているだけじゃなくて、実際に逆に聞き取りをしたりとかということはあるのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 決算の認定にかかわる質問に徹していただきたいと再三お願いしていますが、簡潔に答弁をお願いします。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 今の御指摘のとおり、この基幹センターのほうにはそれぞれ地域の事業所が集まる部会等々がございますので、その中でそういった課題については協議をしておる状況でございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく48ページの基幹相談支援センター委託の件ですが、当初予算が2,150万円だったので、それに比べると200万円ぐらいふえていて、流用もありますが、この流用の理由と、それから、前年度と比べて相談件数がどのくらいふえたのか。去年の資料がないので、必要になった、これほど人件費をふやす必要があったという根拠を示してください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） まず、この金額の増加の要因でございますが……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 簡潔をお願いします。

○社会福祉課長（中村泰正君） まず、28年度当初は職員が2人正職員で、嘱託と臨時職員が1名ずつの4名体制で行っておりました。それから、昨日、運営費補助金のほうでも少しお話をさせていただいたんですが、10月に人事異動等がございまして、そこでこの機関の職員と運営費補助金の職員等々の人事異動がございました。その結果、こちらの基幹センターの職員が約2.5人分、それから、嘱託が0.5、それから、臨時職員が1名ということで、その分の差額分が増額になっているということで、特にほかの要因があったから増員をしたというものではございません。

それから、件数ですが、28年度は8,631件ですので、前年よりもおおむね1,000件ぐらい相談件数の総数としてはふえております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の123ページ、122、123の児童福祉総務費の児童福祉事務事業の報償費、上から2つ目の報償費のさらに2つ目、講師等謝礼ですけど、これが前年の倍になっていて、当初予算の1.6倍なんですけれども、ほかからの流用も受けているんですが、これは何らかの必要性があって回数をふやしたのか、それとも、講師の質を上げたのか、そのあたりを教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 9月に死亡事例が発症したことに伴って検証委員会という会議を4回、急遽緊急で開催したことが影響しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績の45ページの老人福祉センター運営事業についてお伺いします。これは指定管理に基づくものですが、約980万円の指定管理料ですが、これのコスト効果があれば教えてください。それから、サービスの内容、質の部分について向上した点があれば、あわせてお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。簡潔にお願いいたします。

小川課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 老人福祉センターの指定管理に対して財政的なメリットがあったかというような御質問ですが、特に有料の施設ではないものですから、コストメリットとしては特にないというふうな理解をしております。

また、質のところでは、アンケート結果などを見ると、接客ですとか、利用しやすさなどは上がっているというふうにアンケートの回答がございました。また、多世代のイベントなども実施されております。

以上でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 先ほど山盛議員より御質問がありましたことにお答えします。保育園の調理委託のことですが、28年度に3園委託しました。その職員が11名おります。その中でやめられた方はいません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

中村課長、答弁願います。

○社会福祉課長（中村泰正君） 先ほどの清水議員の質問に関連しました回答でございます。実績報告書の47ページの特別障害者手当等の支給状況のことでございますが、この一番上段、特別障害者手当の1級から2級かつIQ20以下の合併症、月額33470になっておりますが、清水議員の御指摘のとおり210円の相違がございまして、3万3,680円でございます。また、その下段が2万7,670円がこちら210円増額となっております、2万7,880円です。決算におきましては、修正後の210円上がった金額でそれぞれの方にお支払いをしております。

それから、IQの20から35についてはどうなっているのかということですが、今、こちらの上の特別障害者手当というのは、これは国の制度でございまして、このページの一番下の県在宅重度障害者手当、こちらの上段のほうがIQ35以下になっておりますので、今御指摘の20から35までの方につきましては、こちらのほうでお支払いをしているということになります。

それから、もう一点、先ほど富永議員のほうから質問がございました成年後見人等報酬費助成金84万8,000円につきまして、今年度3件ですということでしたが、27年度につきましても同じく3件でございます。ただ、内容によって金額が変わりますので差異が出ておるといってございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 何度も済みません、給食業務委託について、新しく委託をした3園はやめた人はいないと言われると、前から引き続いて委託している3園にはやめた人がいるんですか。28年度決算は6園の調理業務について委託をしているので、定着率を聞いてるので、そのように答弁をしてください。

それから、その前の答弁で正職4人退職、フルが5人退職、パートが4人やめたというふうに言われましたが、それは全部直営の部分ということになりますが、それで間違いないですか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 定着率は人件費のほうですか、山盛委員。

○山盛さちえ委員 もちろんです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 今の御質問の人数の件ですが、先ほど言いました10名から6名とかいう人数の件ですが、これについては今回28年度に民間委託した保育園の人数です。

以上です。

ごめんなさい、全部の保育園です。ごめんなさい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 委託の6園は……。

樋口指導保育士。

○指導保育士（樋口桂子君） 直営も委託も含めた数です。

済みません、以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） いや違う。委託の6園について……。

○山盛さちえ委員 私が聞いているのは、委託されている6園の定着率を聞いているので、まぜるとわからなくなるので、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 後にしますか。

○指導保育士（樋口桂子君） 済みません、少しお時間を下さい。

○山盛さちえ委員 済みません、委員長、もし何か資料をお持ちだったら、直営のほうで入れかわり、それから、委託のほうで入れかわりというのを一覧にして出してもらったほうが早いというか、間違いないので、もしよろしければお願いできませんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 今、山盛委員は資料請求ということですか。

○山盛さちえ委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 当局においてすぐ用意できますか。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 少しお時間をいただきたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） お時間はどれぐらいになりますか。わかりませんか。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 30分くらいお時間をいただきたいです。

○山盛さちえ委員 児童館、児童クラブについても同じように確認したかどうかということを知っているんですが、その答弁もありませんが、それも同じように時間がかかりますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ちょっと待ってください。今、資料請求の話をしていきますので。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほど、児童館のことについてはお答えしております。

(ごめんなさい、聞き漏らしました。お願いしますの声あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) では、ただいまの資料請求について、本委員会として資料請求することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 30分ということは午後からになりますね。その間、質問を続けます。

加藤課長。

○児童福祉課長(加藤育子君) 山盛議員さんへの質問のお答えですが、やめられた方はございません。

以上です。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 先ほどの質問の続きですか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の47ページ、先ほどの特別障害者手当、真ん中のあたり、ここは金額をいただいたんですが、もしかしてその下の障害児福祉手当、それから、福祉手当経過措置のところの金額もこれは差異があるということでしょうか。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長(中村泰正君) 確認をします。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の121ページ、児童福祉総務費の中の下のほうにあります工事請負費の中の双峰児童クラブ室エアコン設置工事費、これ、概要のほうでも予備費の充用のところで御説明があったかと思うんですが、エアコン設置で245万円余というのはかなり高いなと思うんですが、どういう工事だったんですか。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願いますが、工事内容ですか。

○ふじえ真理子委員 工事内容。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長(加藤育子君) 双峰児童クラブのガスエアコンが壊れましたので、その取りかえということになります。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 金額が高額ですということではいっていますので。

○児童福祉課長(加藤育子君) ガスヒーポンというものになりますので、以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の127ページの保育園費の民間保育所等委託料の負担金、補助及び交付金から流用を受けているんですが、民間保育所等委託料1,464万9,980円、ほかにまた扶助費のほうに393万流用しているんですけど、流用を受けてまたほかに流用をしているところの事情を教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） まず、上の民間保育所運営費補助金からの流用になりますが、これは委託料が公定価格が上がったことによって予定よりも金額が伸びたということと、もう一つは20節へ流用しているんですが、これは何かといいますと、プリスクールとか、市外の認定こども園等に通う人たちの分をこちらのほうから払っているんですが、本来なら施設型、地域型保育給付という形になるものですから、27年度当初の予算の計上の段階でこのプリスクール等を利用する人というのがどれくらいかというのがまだ見込みがつかなかったということで、性格上、委託料と同じ性格ということで、ここからの流用で使うというところで予算を組んでおります。4月当初よりこのプリスクール等へということで20節へ流用を使っていた関係もありますので、委託料が後半になって2月ぐらいに不足をしてきたということで補助金のほうから流用をしていると、そういった仕組みになっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の49ページの一番下、県の交付金のホームレス実態調査等交付金、額は1万5,000円と少額ですが、それから、次のページの生活のしづらさなどに関する調査5,500円というのが上がっておりますが、この調査結果と何か市として対策をとられたことがありましたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） まず、1点目の49ページ、ホームレス実態調査等交付金につきましては、市内にホームレスがいるのかどうかの調査ということで、消耗品等の例えば住宅地図を購入したりとか、そういったものが対象になって1万5,000円の交付を受けたというもので、こちらにつきましては毎年ホームレスの調査を行っているというもので

ございます。

それから、51ページの生活のしづらさに関する調査でございますが、これは全国の拠点を幾つかピックアップされまして、そこに調査員を派遣して生活のしづらさ、しづらいのかとか、例えばいろんなものが負担になっていないのかとか、そういった調査を行うというものでございます。その旅費、それから、消耗品、その調査員が使うペンですとか、そういった消耗品と研修等を行う旅費が交付をされるというものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 ほかになくて、交付金の中身を聞いているわけじゃなくて、この調査の結果がどうであったか、それから、市として対策をとられましたかということをお聞きしたので、ホームレスがあったかなかったか、しづらさ調査がどういう結果が出たか、それに対する……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） そこまで行くと、決算の認定にかかわる質問になりますので……。

○山盛さちえ委員 だから、この交付金を受けているそれがきちっと執行されたかどうか、そのことを聞きたいので、内容です。効果的にこの交付金が使われたかどうか、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 簡潔にお願いします。

○社会福祉課長（中村泰正君） この調査の目的は障がい者施策の推進に向けた検討の基礎資料とするための在宅の障がい児・者等の生活実態とニーズを把握することが目的になっております。これは全国の規模で行われているもので、2,400地区で行うというものでございます。我々はそれに基づいて調査員を選定して、その方に旅費とかいろいろお支払いするんですが、それについて国のほうから交付金をいただくというもので、調査結果の内容につきましては国のほうが基礎資料にしているというもので、本市でこれに基づいて何かをしているというものではございません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、先ほどの委託の6園の定着率の資料請求ですが、資料がないと決算認定ができませんか。

○山盛さちえ委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） わかりました。

ほかにございませんか。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 先ほど清水議員から質問がございました決算の実績報告書47ページの特別障害者手当等の支給情報の記載についてでございますが、大変申しわけございませんが、先ほどの特別障害者手当だけではなく、その下の障害児福祉手当、この2万1,380円が2万1,500円、その下の1万5,630円が1万5,750円、その下、福祉手当の上段、2万1,380円も2万1,500円、下段につきましても1万5,750円となっております。なお、3の在住の1万5,500円、6,750円につきましてはこのままの金額でございます。大変申しわけございませんでした。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今の47ページのところ、同じところなのですが、障害児福祉手当の上の段のここもI Q20以下の合併症、その下の表、福祉手当のところも身障手当1から2級の一部、またはI Q20以下のものということになっているんですが、I Q20以下のものということによって運用されたということによろしいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） そのとおりでございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 I Q21から35の方にはお支払いしていないと、そういうことですね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） この特別障害者手当から福祉手当（経過措置）というところまでは、これは国の制度でございます。先ほど申し上げましたとおり、20から35につきましては、この3番目のもらえていない方でそこに該当する方については県の手当としてこの3番目のものが支給をされるということになっております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほどの山盛議員の資料請求のことで確認をさせていただきませんが、給食の委託というのが21年度から始まって、26年度以降、27年度には委託が

なく、28年度に3園を委託しております。28年度、3園を委託した場合に魚国さんに3名異動しまして、その3名はやめずにいるんですけど、それより前にいた人の定着率と言われると28年度実績ということではなくなるんですが、今の説明では御納得いただけないでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度決算の認定ですので私はいいと思いますが、山盛委員はそれで大丈夫ですか。重ね重ね申しわけありませんけど、28年度の決算の認定にかかわる質問ですので。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今の説明が私は理解できていないんですが、28年度は給食業務委託を54ページによると青い鳥、二村台、中部、内山、栄、西部の6園に委託したのではないですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 先ほども申し上げましたように、28年度、新たに内山、二村、西部ということで委託しましたが、それ以前は21年度、25年度、26年度というふうに順次委託をしてきております。28年度については3名の人が業者のほうに移行して、その3名は定着しておりますが、それ以前から、21年度当初からということになりますと28年度実績以前のこととなりますが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そういうことではなくて、28年度中に6園の調理業務において人が入れかわった、何で今まで5年勤めていた人がやめたとか、初めて28年度に就職された方がやめたとか、そういうことじゃなくて、28年度中に人の入れかわりがどのくらいあったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

○児童福祉課長（加藤育子君） 21年度以降委託した人が28年度中にやめた人ということですか。

（28年度中の人の退職、新しい人の入れかわり、28年度中にどのくらい入れかわりがあったかで結構です。もちろんそれですの声あり）

○児童福祉課長（加藤育子君） それでは、21年度以降に委託している園でやめがあったかどうかは確認させていただきます。資料請求までは必要ないでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度中に。

○児童福祉課長（加藤育子君） 28年度中にやめた園ということで……。

(単年度で見えていいですの声あり)

○児童福祉課長(加藤育子君) 新たに委託した3園については先ほどから申し上げているんですが、あとの3園については確認いたします。

(ごめんなさい、何か余りちゃんとわかっていないみたいでの声あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 資料請求しましたので、山盛議員が必要だと言われますので出させていただきます。

ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の47ページの表のところなんですけど、再度確認しますけども、真ん中の表、特別障害者手当の合併症の方、表の上になるんですが、これはIQ20以下ということよろしいですね。その方にお支払いしたということ。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長(中村泰正君) はい、そのとおりでございます。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 清水委員。

○清水義昭委員 県のほうのガイドブックでいくとIQ35以下の方にお支払いしなければならぬというふうになっているんですが、どうして豊明市はそういうふう運用したんですか。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長(中村泰正君) 払わなければいけないというのは、これは愛知県在宅重度障害者手当をということで解釈をしております。

終わります。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 清水委員、関連ですね。

○清水義昭委員 資料がありますけども、読んだほうがいいですかね。県の制度ということで特別障害者手当のところ、県の制度分というところは国制度分に加算して支給しなさいということになっているんですが、身体障害1級または2級の障がい者を有し、IQ35以下の方というふう定義されています。在宅のところを見ると特別障害者手当の人を除いてここはお支払いするというようなことになっているんですが。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長(中村泰正君) この在宅重度障害者手当は、先ほど申し上げましたとお

り、IQ35以下の合併症の方が対象になりますので、例えば35のIQの方については上のほうの特別障害者手当の支給がないので、ここで県のほうの手当としてこれが月額もらえますよということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。質問をお願いします。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） 例えばIQ20の方は上の特別障害者手当をもらうという形です。この手当と下の3の在重を重複してもらうということはできないんです。ですので、上が優先ですので、上がもらえれば国制度と県制度で併用してこの金額になっているんですが、これがもらえる人はもらっていただいて、ここがもらえないと35以下の方については3番のほうで県のほうから支給がされるというものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、IQ30、仮に身障手帳の1、2級を持っていて、かつIQが30だった方というのは、一番下の表、1万5,500円をお支払いしたということですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） はい、そのとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 となると、県のほうのガイドラインと合っていないんですが、どうしてそういう運用をされたんですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

中村課長。

○社会福祉課長（中村泰正君） ちょっと確認させてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 加藤課長のほうにも、今から休憩に入りますが、すぐに出すようお願いいたします。中村課長のほうにも、答弁のほうよろしくようお願いいたします。

午後1時まで休憩といたします。

午後零時1分休憩

午後1時再開

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

村山議員におかれては、治療のために、また後で来られるという連絡を受けました。

3款 民生費について……。

（委員長の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 藤井健康福祉部長。

○健康福祉部長（藤井和久君） 午前中の清水議員の質問の中で社会福祉課長の答弁の中で一部誤りがありましたので、おわびし、訂正のほうをさせていただきます。

実績報告書の47ページ、この中で2の特別障害者手当等支給状況で特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当等でI Q 21から35の方はこれら3つには該当せずに、3の県のほうの手当に該当するというような回答をしましたが、詳しく調べましたら、I Q 21から35以上の方でも身体1から2級程度の障がいが複数重複している場合などに限っては今言った2の手当に該当する場合があります。ということで、重ねて誤った発言をしましたので、ここで謝罪し、訂正させていただきます。大変申しわけありませんでした。

なお、実際の運用につきましては、県のガイドブック、清水委員がお持ちの県のガイドブックをもとに国の基準にのっとり支給の認定をしておりますので、認定漏れというものはございません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明が間違っていたということだけですね。

それと、資料が配付されておりますので、資料について説明をお願いします。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） それでは、28年度、6園の給食委託業務について、職員の28年度中の退職状況について、お手元の資料の説明をさせていただきます。退職者が3名で、関連施設への異動が1名となっております。なお、6園の給食業務に携わっている全体の人数としては24名です。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 質疑を続けます。

山盛委員、この関連ですね。

○山盛さちえ委員 ありがとうございます。栄保育園の2名の部分についてお伺いしたいんですけども、ここの調理員さんの実際調理にかかわられる方の人数をまず教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 4名です。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 となると、4名中2名の方が入れかわりがあったということになりますが、なぜこの質問をしたかという、以前、福祉文教委員会で現地視察というか、確認に行ったときに委託先の責任者の方が調理業務に当たられる方の退職というか、入れかわりがあって、調理業務はチームで限られた時間の中で行うので、そこが苦勞しているというようなことで具体的なお話をお聞きしたので、28年度について確認させていただいたんですが、栄については4人中2人ということになると半分がかわってしまったということなんですが、業務に支障が出ていないとは思いますが、何か特別な対応とかはちゃんととられたのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。出たか、出なかったかだけで結構です。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 毎月、給食業務に携わる人の連絡会議もやっておりますが、特にそういったことは発生しておりませんので、事業に問題はなかったと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の128、129のところですが、上のほうの保育園費の民間保育所運営費補助金、上から2つ目ですが、これは去年より34%減っていて、予定どおりなのかなと思ったら予算から30%減っているんですけど、どんな事情がありましたでしょうか、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

加藤課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） この民間運営費補助金というのは公定価格の人件費分との差額で補填しているものになりますので、公定価格が上がるとこの補助金も減るという仕組みになっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

これにて3款の民生費を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入れかえのために暫時休憩いたします。速やかな入れかえをよろしくお願いいたします。

午後1時5分休憩

午後1時8分再開

○**決算特別委員長（三浦桂司議員）** 暫時休憩を解き、会議を進めます。

続いて、4款 衛生費について、順次説明を願います。

藤井健康福祉部長。

○**健康福祉部長（藤井和久君）** それでは、4款 衛生費のうち、健康福祉部関連の決算の状況について御説明をします。実績報告書の57ページをごらんください。

4款1項1目 保健衛生総務費は、決算額1億1,242万9,172円で、前年と比べ約2億6,748万円の減額となっております。これは公的病院等運営費補助金が前年度で終了したためです。

続きまして、その下、2目 予防費は、決算額4億3,804万1,861円で、約3,415万円ほどの増額となっております。増額の主な要因は、はつらつ健診及びがん検診の受診者の増加、平成28年10月より開始されたB型肝炎予防接種の実施、ファミリー・サポート・センターの移設に伴う報酬の増額です。

続きまして、63ページをごらんください。

4目 保健センター運営費の決算額は3,988万4,175円で、前年比で約2,830万円の増額となっております。増額の理由は、保健センターの外壁等改修工事の実施によるものです。

続きまして、64ページをごらんください。

5目 休日診療所の運営費の決算額は2,032万9,469円で、前年とほぼ横ばいとなっております。

続きまして、流用額の状況につきまして御説明をしますので、決算の概要の6ページをごらんください。

最上段、一般会計の衛生費、休日診療所運営費の需用費は、当初見込みより患者数の増加によりインフルエンザ等の検査キット及び試料薬の購入に伴うものです。

続きまして、不用額の状況につきまして御説明をしますので、7ページをごらんください。

表の中ほど、衛生費の予防費、報酬231万9,835円は育児休暇職員の代替職員の報酬の執行残です。委託料1,118万991円は、主に予防接種の委託料の執行残であります。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 続いて、説明をお願いします。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、4款 衛生費のうち、経済建設部の所管いたします事業の主なものについて説明をいたします。

実績報告書62ページをお願いいたします。

3目 環境衛生費でございます。前年度に比較しまして約8,325万円の減額であります。減額の理由は、27年度におきまして、消防本部での地中熱利用空調施設工事、保健センターでの太陽光発電設備工事が完了したためでございます。

新エネルギー事業では、太陽光発電システム等の設置費補助金交付事業として、家庭用燃料電池設置に対して補助をいたしました。実績といたしましては12件で、計60万円の補助でございました。

狂犬病予防対策事業では、狂犬病予防注射及び登録のための集合注射業務を市内延べ10会場におきまして実施をし、実績につきましては348頭でございました。

また、合併処理浄化槽設置費補助金交付事業の実績は38基でございました。

また、不法投棄、野焼き、悪臭・騒音等の監視のために環境監視員2名による監視活動を主な事業として実施をいたしました。

次に、64ページをお願いいたします。

6目 公害対策費でございます。決算額は前年度と比較しまして78万円の減でございます。主な事業は、公害対策事業として河川等の水質調査を実施いたしました。

次に、65ページをお願いいたします。

2項1目 清掃総務費でございます。決算額は約6,569万円の増額でございます。増額の理由につきましては、東部知多衛生組合の負担金が6,619万円の増額となったためでございます。事業といたしましては東部知多衛生組合の負担金が増加しておりますが、これは新ごみ処理施設の建設工事による負担金が増額をしておるということでございます。また、資源ごみにつきましては、区・町内会、子ども会に分別収集をお願いし、奨励金を交付しております。

次に、66ページをお願いいたします。

2目 塵芥処理費でございます。決算額は前年とほぼ同額でございます。主な事業は、塵芥処理事業として、可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬を行いました。また、清掃事務所では、粗大ごみの処分の受付業務と個別有料回収事業を実施しております。

次に、67ページをお願いいたします。

3目 し尿処理費でございます。決算額は前年度とほぼ同額でございます。事業はし尿の収集処理でございます。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の7ページをお願いいたします。

中段の少し下、衛生費の中、環境衛生費でございます。委託料137万7,664円のうち、環境課所管分55万5,664円で、主なものは犬猫の火葬場の使用委託料で、これは利用料が見込みより少なかったということでございます。

その下、負担金、補助金及び交付金131万7,367円は合併処理浄化槽設置費補助金で、実績が見込みより少なかったためのものでございます。

その下、繰出金247万円は太陽光発電事業特別会計の繰出金でございますが、これは繰り出しを行わなかったことによるものでございます。

その下、清掃総務費の委託料195万5,846円でございますが、資源ごみ処分委託料で回収する資源が見込みより少なかったためのものでございます。

以上で経済建設部の所管いたします4款の説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 続いて、説明を願います。

吉井市民生活部長、よろしく申し上げます。

○市民生活部長（吉井徹也君） 4款 衛生費のうち、市民生活部所管分について御説明をいたしますので、実績報告書の63ページをお願いいたします。

中段あたりの米印、火葬場及び霊柩車使用件数でございます。これは知立市との委託契約に基づくものでございまして、使用の委託料につきましては910万3,000円であります。火葬場の使用件数は567件、そのうち知立の火葬場の使用は251件で、全体の44.3%でございました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方はページ数を示して挙手を願います。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績の62ページの狂犬病予防対策事業についてお伺いいたします。

決算書の歳出で見ると、137ページに、狂犬病予防等業務ということで113万円余の事業費が計上されていて、入のほうを見ると、33ページに、衛生手数料として狂犬病予防手数料258万円余が書かれています。これだけを見ると、狂犬病予防対策で市が利益を得ているというふうに見えるのですが、そのほかに支出が発生しているようなものがあれば教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 決算書の33ページのほうでございますが、狂犬病予防手数料、この中に犬の登録の手数料、あるいは鑑札の再交付の手数料などが入っております。差し引きするとどうかというのはちょっとわかりませんが、そのようなほかの入が入っているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、登録料が入っているということだったんですが、62ページには新規登録4頭と書いてあるものですから、登録料が物すごく高いことになります。今、きちんと数字はつかんでおられないというようなことをおっしゃいましたが、狂犬病の予防接種について、利益を得ているような状況になっているかどうかについて、ちょっとこの4款の間のうちに調べて御答弁をいただきたいと思いますので、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） それは、山盛委員、調べておいて。

○山盛さちえ委員 はい、ください。今即答できなければ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 今、答弁できますか。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） ちょっと整理させていただけますか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書66ページ、廃食用油のリサイクルです。ごみ収集車の旧型の車両をわざと残して運用しているということで、私、しばらく前に、これは廃車になったというふうに聞いていたつもりだったんですが、この決算報告にはまだ運用していると、28年いっぱいも運用しているというふうに書いてあったので、それをちょっと現状確認したかったのでお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） B D Fを使用したパッカー車、現在1台、運用中でございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の65ページの清掃費の3番目の資源回収実績について聞かせてください。

前年に比べると、上のほうの2番目の奨励金も271万円ほど減っております。先ほど説明の中でも回収量が減って不用額が出ているというんですが、これは回収自体の量が減っているんですが、以前は増減のパーセントがついていたんですが、今パーセントがついてなくなりましたので、どの部分のものが減っているのか、もう少し、減った原因とか何かあるのか、説明していただけるでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 65ページの資源の回収量の実績、3番であります回収量の実績でございます。減額について、回収の削減が、削減といいますか、回収量が減っている主なものにつきましては紙類、これが6.8%で、衣類・布類について10.6%減少していると、そのようなこととなっております。これの影響で、各区や町内会への奨励金が減っているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 業者さんが場所をつくって回収していることもやっている、市内でもあるんですが、そういうのに流れているという影響なのか、そういう分析もされているんでしょうか。

また、上に奨励金の買い取り価格もあるんですが、たしかアルミは下がって鉄は上がったとか、微妙に毎年増減があると思うんですが、その辺の影響もあって奨励金が下がっている部分もあるんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願いますが、28年度決算についてお願いします。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 民間の資源を扱う事業者の量については、我々は把握はしておりません。箇所とかそういうものは把握はしておりません。

また、子ども会や地元での回収につきましては、先ほどお話ししましたとおり、紙類の増減が随分減っておるといようなことでございます。子ども会についても同様でございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 金額の変化が答弁漏れです。金額に何か高い低いがあったのか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度の変化、数字を持ってありますか。答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） アルミの買い取り価格は随分下がっております。4カ月に1回、価格、売買価格については見直しをしておるんですが、27年度末に40円だったものが、28年度末には32円になっております。スチールについては、委員言われるように0.5円から2円に上がっております。ちなみに、今のお答えした金額については、キロ当たりの単価ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書の61ページ、お願いします。

成人事業一覧があるんですけど、その中段の家庭訪問・成人4人というふうになっているんですけど、これちょっと事業の詳細、わかりましたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮健康推進課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 成人、61ページの家庭訪問の4名は、集団でがん検診を受けた方のその後の精密検査を早急に行っていただきたい方と、あと、特定健診の血液検査で異常で高値の方、それで、やはり病院に早く行ってほしい方、4名について、家庭訪問を保健師がしました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 決算の概要の43ページをお願いします。

不妊治療費助成事業についてです。成果・課題のところに、申請者52人中、助成額で20人が受けられているということですが、この内容を詳細にお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 不妊治療で5万円以内の方から報告させていただきま

す。

上限5万円までの方は32名補助をしています。5万1円から9万9,999円の方が14人、10万円の方が6人というふうの助成で52名しています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書135ページの保健衛生人件費の部分でお伺いします。

これ、予算書の私のメモなのですが、28年度中にキャリア採用とか再任用を予定しているというような説明書きがありました。これを見る限り、不用額が500万円ほど出ていますし、そういった予定どおりの採用ができたのかどうか教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 予算で17名で、28年、保健師でキャリア採用が1名ありました。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の63ページの最下段、お願いします。

保健センターの外壁等改修工事、これ、181ページの工事の内容で見ますと、2,246万程度の契約が、2,858万ですか、約600万ほど上がっているんですけど、この変更増分はどういう理由で何をやったのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 外壁と内壁とタイルのところの改修工事をしました。変更した理由は、内壁のタイル数が、26年度に調査したときは579枚で、タイルの隅が浮いているものは数えられてなかったということで、今回アンカーの、アンカーをする安全性を考慮して、そちらのほうの修理も全てしていただきましたので3,459枚の増です。以上が理由です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 概要の43ページ、先ほど近藤千鶴議員が質問されたことに関連してですが、成果・課題ということで今さっき数字を伺いました。不妊治療をしていただくことができたこともこの事業の成果だと思いますけれども、その中で実際に子どもを妊娠

されたという数が、もしわかれば。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 52人中、妊娠された方は17名です。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書63ページの中段、お願いします。

火葬場及び霊柩車使用件数。知立市以外、その他のところの件数が多いんですが、新たにつくられた火葬場もございます。これの中で、メインの部分でいいので、もし実績がわかれば教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） 知立以外では、八事が189件、33%、それから、刈谷の青山斎場が89件、16%、あと、名古屋の第2のほうで20件で4%になっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 名古屋の八事のほうはいっぱいだということで、余り、余りというか、できるだけ利用を控えてほしいというような要請が前はあったような気がしますが、港区のほうに斎場ができて、今はそういうことはもうなくなっているのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 完全な一般質問ですが。

○後藤 学委員 そういう話が名古屋のほうから来ていないかどうか、去年はなかったかどうかということを聞いています。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） あったかなかっただけで結構です。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） そういうことはございません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算の概要をお願いします。

ページ数が6ページと7ページで、まず最初に、聞き逃したような感じになっているので確認をしたいんですが、6ページの休日診療所の流用のところで、インフルエンザにか

かった人が多かったことへの影響というように聞こえたんですが、それで正しかったでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） インフルエンザにかかった方もみえますが、インフルエンザの疑いで受診している方の内科の方もふえていますので、そちらのほうも多くなっています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 続いて、隣の7ページの予防費の不用額の説明で、予防接種にかかわる不用額だったというふうな御説明だったと思うんですけど、先ほどの、予防接種が余りされなかったからインフルエンザ等の感染症にかかった人が多かったような、そういう関連性というのは特に見受けられないでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） インフルエンザ、高齢者のみの接種ですので、それ以外のことについては、それで接種率との関係は考えられません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 決算書の137ページの下から2段目の犬猫等死体処理委託料についてお聞きします。

内訳が、犬が4、猫が256、ほか84で、単価が4,428円でこの金額になるんですが、土日の回収をしているのは私も承知しております。これ、夜間の回収もしていて、それは全部単価が同じということではないんですかね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 夜間の回収はしておりません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 関連で。

そうすると、例えば道路に犬や猫が死んでいるというときに、連絡があったら、何時か

ら回収してみえるのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 我々は事業者に電話連絡をさせていただきます。おおむね9時から4時ぐらいまでというようなことでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の61ページの成人事業一覧の中の第2次とよあけ健康21計画の中のとよあけ健康大金星マイレージが昨年の10月から始まっていますが、このマイレージ発行枚数757枚、それで、まいかを交換した枚数が23ということで、半年間なんです、この757の23という数字に対しては、予想どおりというのか、予定より少ないと、どういうふうに分析されていますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） まいかの交換枚数も見込みよりは少ないというのが感想です。今後、29年度、30年度に向けては、ここは強化をしていきたいというふうに考えております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の58ページ、母子保健事業の真ん中のあたりに、全ての赤ちゃんを対象として赤ちゃん御誕生おめでとう電話をし、保健師による赤ちゃん訪問事業を実施しているとあります。28年度に生まれた赤ちゃんのところの御自宅に電話をして、全て連絡がついて訪問できているのでしょうか。例えば里帰りして全然連絡つかないとか、心配なのはネグレクトとか、そういうものが心配ですので、ちゃんと100%なのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 今、携帯電話が多いので、100%かと言われると、出生数530、3カ月健診、赤ちゃん訪問行った方には保健センターで手続された方、それから、出生届をされた方について、電話のわかる方には100%やっています。ただ、転入で電話番号のわからない方については、お手紙を送ったりというふうにしております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 28年度で連絡が全くついていないという方はいないということでしょうか。何らかの形でちゃんと連絡して、状況は把握できているのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 全てを把握しております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 決算の概要の44ページをお願いします。

産後ケア等子育て支援事業で、成果・課題のところで、27年度は3人で、28年度は9人に増加とあります。これは実人数とありますが、この方たちの利用回数がわかればお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 9名で101回使っております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどのマイレージ……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数をお示してください。

○山盛さちえ委員 61ページのマイレージの件です。

まいかの交換についてはちょっと見込みというか、予定より少なかったということなんです。このマイレージのシートを使って、例えば健診を受けた方がどのくらいふえたというか、そのマイレージを発行したことによって、どんな事業がより推進したかというようなことはつかんでおられるのでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） マイレージで健診、全て自己申告制ですので、それで健診の受診率が上がったかというのはわかりませんが、マイレージシートは保健師が企業回りして、企業の健康づくりのこととかをお話しさせていただいたり、あと、協力店舗に、お店の方の従業員の方の健康づくりについても、このシートを活用してほしいというお願いをしながらしたことが効果、今まではなかなか企業やお店には、保健師、なかなか行かなかったのが、ここの効果だと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 関連ですか。

（違いますの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 清水委員。

○清水義昭委員 概要の44ページの上の産後ケア等子育て支援事業なんですけど、これ、予算額と決算額、ほぼほぼ同じぐらいなんですけど、一般財源を100万円近く多く充てている、この理由を教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 決算額のほうの財源ですが、国庫支出金、県支出金は、まず、ファミリー・サポート・センターの全ての事業費とかの補助が入っております。一般財源のほうについては産婦さんの健診の分も入っていますので、その分がふえているというふうになります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書135ページの一番下の各種診断と業務報酬1,250万円余の中身について、どういった事業にどのくらいの報酬が支払われたのか、内訳をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 看護師さん、それぞれの職種ごとで金額を御報告するというふうでよろしいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） それでいいですか、山盛委員。

○山盛さちえ委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） お願いします。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 看護師5名の方にお支払いしている金額が176万5,025円、それから、歯科衛生士さんにお支払いしているのが4名で82万3,700円、それから、栄養士さんが2名で93万250円、保健師が700万9,430円、ごめんなさい、5名です。保健師が5名です。ファミサポのアドバイザーさんが2名で201万260円、お支払いをしております。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど不用額で出てきていたと思ったんですが、育休……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 不用額のページで結構ですか。

○山盛さちえ委員 はい、7ページの育休、報酬のところ、育休職の執行残で230万円ほど出ておりますが、これはこの中の未執行という部分でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 保健師の分の残額になります。主になるものは。

（ここの保健師さんですねの声あり）

○健康推進課長（二宮眞由美君） ここのです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、キャリア採用でお1人、28年度採用はあったんですけども、各種診断等の報酬のところでは減ってしまっていたということになると、都合、保健センターの業務としては人手不足だったということになるんですが、それでよかったですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 2名育休になりましたので、人手と言えば確かに少なくなっている。ただ、残っている者でキャリアの方もみえましたので、そこで補ったり、パートの方では補いましたが、頭数としては少なかったとは思いますが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 隣の59ページのところにファミリーサポート事業の実績が書いてありますが、保健センターにファミサポを移動したことによる何かプラス、あるいはマイナスのようなことがあったらお知らせください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） ファミリー・サポート・センターが保健センターになってプラスになったことは、提供会員さんとかの、まず、1点目は、提供会員さんが保健師と情報交換して安心してサービスにつなげられるケースがふえた、相談する場としてできたこと。それから、3カ月健診、小さいうちに健診とかお見えになりますので、母子手帳後、気になる方に、支援が必要と感じる方についてはファミリー・サポート・センター、登録しなくても説明だけでも聞いていただけるようになりました。ただ、マイナス面とい

うのは、以前は保育園にありましたので、やっぱり保育園の方からの依頼は、ファミリー・サポート・センターに聞くと多かったというふうには聞いています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

早川委員。

○早川直彦委員 28年の参加人数は書いてあるんですが、その前年と比べると移転したことでふえているのでしょうか、現状のままなのか、その辺の数字の違いはどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） ファミリー・サポート・センターの利用は、27年度は3,096に減っています。ママサポにつきましては、前年度31なのでふえております。臨時保育についても190、前年度95でしたのでふえています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 関連でお願いします。

今、保育園のほうからこちらに移動したことによって対象となる方がちょっと変わったということなんです、そういうことのマイナスを解消するようなことは、特に働きかけとかはされたのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 保育園のほう、内山保育園とか支援センターでは、ファミリー・サポート・センター、月に1回、説明会はしております。それ以上の、今、保育園に宣伝をしている窓口、児童福祉課の窓口においてある、保健センターの窓口チラシ等は置いて普及はしています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の60ページ、61ページでお願いします。

60ページの一番下のところに乳がん検診、40歳以上ということになっておりますが、最近、若い著名な方が乳がんで亡くなられたというようなニュースもありましたけれども、

非常に乳がんにかかる方が若いというような印象があるんですけども、61ページの一番上の子宮がん検診などは20歳以上の女性というようなことでかなり若くなっておりますけれども、こういった年齢の設定というのは、年齢別の罹患率とか、そういったもので決めるようになっているのでしょうか。その辺の説明をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 国の検討委員会で対象者の年齢とかは決めています。それに基づいて市のほうも実施しています。国の乳がん、子宮がんについても、やはり年齢の死亡者、がんで死亡される方、そちらのほうを検討されてこの年齢になっています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の66ページの塵芥処理費に当たると思うんですが、12月で堆肥センター廃止となったということで、これまで回収されていた分が通常の燃えるごみに処理される分も出てきているんじゃないかなと思います。3カ月分ではありますが、短期間ですけど、何か変化があったかどうか、教えていただければと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 可燃ごみの量というようなことで、28年の1月から3月まで、そして、29年の1月から3月までということで、ごみの量を比較をしてみました。可燃ごみの量の比較をしてみました。ふえるかなというふうに思っておったんですが、むしろ減っておるというようなことです。これはいろいろな要因があるかと思いますが、堆肥センターを閉鎖したことによって、ごみがふえたというようなことはちょっと確認はできませんでした。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の59ページの母子保健事業の表の上から5段目ぐらいですか、フッ素塗布というのがあるんですが、これは28年度は料金を徴収して行いましたか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） こちら、フッ素塗布は自己負担分をいただいています。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

清水委員、関連ですね。

○清水義昭委員 はい。幾らいただいて、歳入のどこのところに含まれているのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 今、済みません、答弁したところで、6月分については無料でやっています。健診の1歳6カ月、2歳3カ月、3歳児健診で自己負担分を入れていただいています。雑入のところ、予算書です。決算書でいきますと61ページをもらってください。の上段、がん検診等一部負担金のところに入っています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の60ページの健康推進事業の下のぼちから2つ目の協会健保との協定を結んで、健診に連携を図って行っているとあるんですが、実際に28年度健診、協定を結んで効果がちゃんとあらわれているのでしょうか。あとは、どういった形の連携というものをされたのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 協会健保と28年度は、協会健保から特定健診を御案内する方の封筒に、がん検診、市のやっているがん検診の御案内を入れていただきました。確かにお問い合わせはふえました。その方。29年度に向けて、がん検診と協会健保の特定健診とどのようにやっていくといいかということも検討をしました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 協会健保との協定は健診の部分だけなのか、他市によってはほかの部分の協定を結んでいるところもあるんですが、当市においては28年度は健診の部分だけということでのよろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 健康推進課では協会健保と健診の部分、あと、高齢福

社課とか、それぞれが協会健保と協定を結んでいると思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の66ページで、塵芥処理事業の中の2番の粗大ごみの回収ですけれども、粗大ごみはたしか1個1,000円で回収をしていただいて、1,010円ですかね。

（20円の声あり）

○近藤郁子委員 1,020円ですかね、回収していただいていて、その入はどこに入っているのか。それと、これを処理した場合にはどういうコストがかかっているのか。それがわかりましたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 決算書の33ページにあります粗大ごみ収集、下のほうにあります粗大ごみ収集手数料335万9,880円、こちらが粗大ごみの処理券1,020円を窓口等で発行した金額ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

○近藤郁子委員 いえ、もう一つ聞いていました。

○環境課長（相羽敏明君） ごめんなさい。どのようなコストがかかっているかということでございますが、清掃事務所の職員が粗大ごみを回収しております。それに係る人件費としてはそれなりにかかっております。

以上です。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 その粗大ごみが回収された後に、回収されたのは人件費でコストがかかっているということは今わかるんですけども、その粗大ごみ自体を処理するのにコストがかかってませんか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

ちょっと外れていますので。

よろしいですか。相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 粗大ごみは清掃事務所のほうに持ち込みまして、そちらのほ

うで資源だとか可燃ごみに分けます。可燃ごみについては、そのまんま東部知多のほうに持ち込みということになります。そこでのお金、費用というのはかかりません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員の狂犬病の利益が上がっているという、予防接種の部分は、まだ回答はできていませんか。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 済みません。いましばらくお待ちいただけますか。済みません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の36ページ、36、37の衛生費国庫補助金ですけれども、これが95%減っている、どれだったかな。ちょっと、もう一回整理してからにします。ごめんなさい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 概要の24ページの健康診査の受診者内訳についてなんですけど、集団のほうは28年度は横ばいというか、伸び悩んでいて、医療機関のほうは順調に伸びているというような状況なんですけど、これは集団のほうの定員というか、そういったことを原因としているというようなことはないでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 集団につきましては定員はありますが、定員が今はあって、そこでお断りしているという状況ではありません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうしますと倍ぐらい違うんですけども、集団のほうがなかなか伸びていかないというか、よりコストの高いほうに皆さんが希望されるというようなことで、何か対策というか、とられたりしているのでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これは28年度単年度で……。

○山盛さちえ委員 もちろんです。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 集団につきましては、節目の方には集団の申し込み時期に、定員のあきがあること、ことしは無料ですということで個人通知をしております。あと、広報で集団の日程を再度、回覧等を町内会にお願いして周知をしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の64ページ、下のほうの公害対策事業のところですけども、苦情件数が25件ということで、例年30件前後あるわけですけども、よく、環境課が言っていたけども、対応してもらえないというような声を聞きますが、この25件のうちの解決率といたしますか、相手方も納得した解決率といたしますか、解決したケースはどのくらいかということが1点。

それからもう一点、この中で、大気汚染が昨年、一昨年と比べると激減と言っていいぐらい減っているわけですけども、この背景、いいことなんですけども、この背景はどのようなことでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。問題の解決の内容については踏み込まないでください。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 解決率ということでは特につかんでおりません。

あと、大気についての件数の激減については、特に、済みません、なぜかというのにはちょっとつかんでおりません。

以上です。

（ちょっと関連しての声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 今の大気に関連で、ちょっと正式な名称を忘れましたが、県のほうから光化学スモッグ注意報みたいなのが出て、そういうのが出た場合には学校などでは生徒が、児童・生徒が教室に入らなきゃいかんとかというようなことがあったと思うんですが、そういうことは起きていませんか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度、起きたか起きていないかで結構です。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 注意報が出たというようなことは記憶に残っております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員の回答はどうなっておりますか。出ませんか。出るか出ないかだけで。

○環境課長（相羽敏明君） もう少しください。ごめんなさい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

答弁できますか。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） まず、狂犬病予防の手数料について、258万8,340円の内訳でございませう。犬の登録の手数料が263件、単価3,000円でございませうが、78万9,000円で、狂犬病予防注射済み証ということで、550円単価で3,268件、犬の鑑札の再交付ということで、1件の1,600円、狂犬病予防注射済みの再交付の分については1件の340円ということで、入については以上のとおりです。258万8,340円ということでございませう。

一方、歳出については、非常勤一般職の職員を雇っておりますので、これが113万3,540円、そして、あと鑑札代です。あと、通知のはがき済みの印刷、そして、郵便代ということで、郵便代として30万1,248円、はがき代が3万5,991円ということでございませう。

歳出についての内訳は以上なんです、それ以外に職員の人件費がかかっているということでございませう。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 要するに私が聞いたかったのは、狂犬病予防で、入と出の関係で、利益が発生しているようなことがないかどうかを知りたかったので、そこを教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。出ているのかいないか。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） 獣医師会のほうに手数料を払って、委託料として払って……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） あるかないかで結構です。出ているか出ていないかで結構です。

○環境課長（相羽敏明君） 出ておりませう。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の37ページのところの衛生費国庫補助金、さっき言いかけたやつですけど、これが結局、前の年の決算書だと内訳がちょっと載っていないものですから、

これが前の年から95%減っているというのが何だったかなというのをちょっと確認をしたかったんですが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 27年度におきまして、地中熱利用の事業費補助金が4,400万あります。この分でございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで理事者側の入れかえも含めて、10分間休憩といたします。

午後2時1分休憩

午後2時11分再開

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

5款 労働費について、説明をお願いします。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、5款 労働費の決算概要につきまして、実績報告書に基づき説明をいたします。実績報告書68ページをお願いいたします。

1目 労働諸費でございます。決算額は約218万円の増額でございます。増額の理由といたしましては、多目的ホールの移動観覧席の点検、改修工事を実施したことによるものでございます。この目の主な事業としましては、勤労会館の管理事業でございます。なお、1階の会議室の一部を平成29年2月をもって閉鎖をし、貸し館業務から除外をし、包括支援センターを設置しております。

以上で5款の説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明は終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 68ページなんですけど、勤労会館の年間の利用人数が3万6,495名となっております、28年度が。27、26、25は、27年度が4万2,403、26が4万609、25年が4万296、4万人、27年度も多かったんですが、5,000人ほど減っている形となっております。人数的

にはちょっとふえてきた傾向があるところで一気に減ってきたんですが、その要因は何なんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見産業振興課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 確かに減ってはいるんですけども、26、27の辺は庁舎の耐震工事をやってあって、そちらの利用者の方が勤労会館を使ったということが考えられます。むしろ27年度が多かったのかなというような分析をしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 庁舎のほうで使えなかった部分の分、もとの平時の状態に戻ったといっても、23年が3万6,000ですので、少ないときに戻っちゃったのかなというと、ちょっと何か周知とかに力を入れなかったからこうなったのか、何かほかの部分の原因はあるんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 特に周知とかもしておりませんので、自然に減ってしまったというような。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 多目的ホールを電動式……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数を。

○宮本英彦委員 ごめんなさい。これしかないで。実績報告書68ページ、多目的ホールを電動式の移動観覧席に工事をされていますけど、これ、観覧席の、この約200万円かけて工事したわけですけど、この工事してやった甲斐はあるんでしょうか。利用実績を教えてくださいとありがたいんですけど。まだですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） まだこの4月から稼動としておりますので、実績はございません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産費について説明をお願いいたします。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、6款 農林水産費の決算概要を、実績報告書に基づき説明をいたします。実績報告書の69ページをお願いをいたします。

まず、1目 農業委員会費でございます。決算額は約26万円の減額でございます。減額の主な理由につきましては、農業委員会委員の欠員が1名分でございます。その報酬の減額によるものでございます。主な事業といたしましては、農業委員会事務、農業委員会総会、毎月1回開催し、付議案件の処理、また、農業者年金事務では受給者、28年度末で39人の方の受給確認事務等でございます。

続きまして、2目 農業総務費でございます。決算額は約100万円の減額でございます。減額の主な理由につきましては、人事異動に伴い管理職が減をしたことでございます。それから、また一部の事務事業の所管がえに伴う職員数の減によるものでございます。主な事業といたしましては、農村環境改善センターの管理運営等の事務でございます。

続きまして、3目 農業振興費でございます。決算額は約205万円の増額でございます。増額の主な理由といたしましては、米生産調整推進対策費対策補助金の増額や、新規就農交付金の増によるものでございます。この目の主な事業といたしまして、米の生産調整の推進対策、それから、各種農業団体の育成、農業生産技術の向上、経営合理化などの事業でございます。

次に、71ページをお願いいたします。

4目 畜産事業費でございます。決算額といたしましては前年度とほぼ同額でございます。主な事業といたしましては、家畜防疫対策事業、畜産振興事業等の補助でございます。

続きまして、5目 農地費でございます。決算額は前年度に比べ約3,938万円の増額でございます。増額の主な要因といたしましては、樹木剪定、草刈委託、それから、農業土木工事費及び県営土地改良施設耐震対策事業等の負担金が増額になったためでございます。この目の主な事業といたしましては、農業土木工事費にて大久伝排水機場の遊水池のしゅんせつ工事、阿野及び大脇排水機場の常時排水ポンプの整備工事、それから、単独土地改良事業での排水路改修工事などを実施をいたしました。また、県が行う大原池耐震対策工事の実施に伴い、県営土地改良施設の耐震対策事業に対する負担を行いました。

続きまして、6目 総合整備事業費でございます。農村集落家庭排水施設特別会計への繰出金でございます。全額補正減により、決算額につきましてはゼロでございます。内容につきましては、農業集落家庭排水施設特別会計のほうで説明を申し上げます。

続きまして、7目 地域農政推進対策事業費でございます。決算額につきましては約59万円の増額でございます。増額の主な理由といたしましては、農業振興地域の整備に関する法律に基づきまして、平成27年度に実施いたしました基礎調査をもとに、農業振興地域整備計画を作成したことによるものでございます。主な事業といたしましては、農業経営の基本目標を定め、農用地の保全計画の作成をいたしました。

続きまして、2項1目 林業費でございます。決算額につきましては前年とほぼ同額でございます。内容につきましては、県森林協会への負担金でございます。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。ページをお示してください。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 決算の概要の45ページ、お願いします。

上段、県営土地改良耐震云々ですね、負担事業なんですけど、これ、979万円。これは県営事業ではあるんですけど、市の負担割合を教えてください。また、当初予算から比して300万余減額となっておりますが、これは負担割合が変わったのか、事業費が大幅に変わったのか、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは、負担率は11%でございます。当初の1,318万に関してですが、大久伝排水機場の計画策定の負担金、250万円計上しておりましたが、そちらのほうは100%国庫補助になったためで、減額となっております。また、あわせて長間地池、道池、洞窪洞池の耐震調査に係る負担金も24万3,000円の減で、こちらも国庫補助100%になったためです。プラス、大原池の耐震工事費が増額になりまして、154万円増額になって、トータルで339万円の予算上の減となっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の69ページ、農村環境改善センターの運営事業について聞か

せてください。

本館の利用実績は、昨年度に比べると件数はプラス55件になっています。人数でいうと若干減の716名となっております。一番上のところに目標が書いてありますが、農業振興を図るための総合施設である農村環境改善センターの運営を行い、農業関連の講座を開催し、農家生活の安定、農産物のPRに努めたとあるんですが、実際どうなんでしょうか。28年度に本館の利用実績の中で、どれぐらいの割合、細かくとは言わないんですが、実際に、農業の団体さんのイメージは湧くんですが、実際にその割合的に5割とか8割とか、どのようなふうにご利用されたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 利用されている方のほぼ大半が太鼓の関係で、実際には農業の振興というところにはつながっていないかもしれませんが、ただ、アドバイザーの皆さんの講座のほうを年間で5回やっていただいております。そのうち4回は農改センターを使わせていただいております。トータルでおおむねが100人ぐらいの参加がありました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。関連ですか。

早川委員。

○早川直彦委員 実際には、全然農業とは、太鼓とも関係ない方の利用というのはほぼないのか、ほんの若干ぐらいなのか、割合的に、細かくとは言いませんが、どれぐらいなんです。ほとんどないに等しいんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 実際に東沓掛区の区会が開かれたりとか、実際に関係ない方も使われてはおりますが、数としては少ないというふうに考えています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく農業改善センターですけれども、少し前のことになってしまいますが、事業仕分けでこの施設は廃止するというふうに決定され、その後、団体の方たちとの話し合いが何度かされていたと思いますが、28年度において、男の料理教室でしたっけ、違いましたっけ、と、それから、太鼓の人たちの利用の代替地がないということで難

航しているというふうに聞きましたが、28年度、どのような協議というか、努力というか、されていたのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 28年度については、特に協議のほうは行っておりません。実際に太鼓のところの代替施設というところが、めどがなかなかつかないということで協議が進んでいないところが実情です。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどの改善センターの続きなのですが、69ページです。

テニスコートが3月1日で廃止になったんですが、そのことによって、28年度中に閉めたんですが、苦情とか、そういう部分はなかったんでしょうか、利用者さんからあったでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 特にテニスコートについての苦情は入っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 違う部分でもよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） いや、違う部分で結構です。

ほかにもうこの部分はありませんか。

ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 70ページですね、実績報告書の。これで、真ん中あたりのところに、米生産調整推進対策関連事業で、前の年度にはなかった需給調整米というのが入っているんですけど、これがかなりの量を占めているんですが、これは新たにそういうものが対象になったとか、そういうことでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 済みません、昨年も需給調整米というのはありました、

メニューの中に。ただ、それを一般作物のほうに含めておまして、今回は分けて表示をさせていただいたところでございます。実際には需給調整米というのは増加傾向で、これは米粉とか加工用に使うお米を生産するというので、こちらは増加傾向でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 今のところ、これ、補助額を平米単価で割り返してみると平米6円。ということは、1反6,000円ということになるかなと思うんですが。それで、麦とか大豆とか、こういう、この需給調整米というのは飼料米ですね。こういったものをつくられて、収入というのはどのくらい、それは合わせてどのくらいになるかというようなことは把握してみえるかどうか。というのは、面積がだんだん減ってきているものですから、米の場合ですと、10俵までとれないかもしれないけど、1俵1万円で10俵とすると100万円、じゃない、1反10万円ぐらいの収入があるわけですけども……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 後藤委員、それはこの決算の数字に関係ありますか。

○後藤 学委員 この補助でどのくらいの収入があると把握しているかということを知っているのか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） わかりました。答弁願います。今の質問の。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 特にどれぐらいのというところまでは把握はしておりません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。関連ですか。

富永委員。

○富永秀一委員 今の説明で、そうすると、前の年度の実績報告書だと、一般作物となっているところに実は入っていましたよということですよ。そうしますと、比較ができるように、一般作物、今、この28年度でいう一般作物と需給調整米とで平米とか、その補助金の額、それはすぐ出せますか。もし出せるなら比較をしたいので聞きたいんですが。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 27年度が、まず需給調整米が44万935平米。

（発言する者あり）

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 5ですね。それで、28年度が46万5,417で、一般作物のほうで、27年度が41万4,684平米で、28年度が記載のとおり29万1,764でございます。

以上です。

(補助金はの声あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 金額のほうも。

○産業振興課長(宇佐見恭裕君) 金額のほうは、27年度は予算が満額を超えてしましまして、割り戻して交付しておりますので、27年度のときは10アール当たり4,140円のお支払いで、28年度については予算を増額しておりますので、10アール当たり6,000円というふうな補助金となっております。

以上です。

(発言する者あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) ちょっと待ってください。

富永委員。

○富永秀一委員 今の報告書と比較をしたいので、総額、一般作物と需給調整額の、今、平米は伺ったので、その総額の補助金額を。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 金額ということですね。

○富永秀一委員 はい。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 金額はすぐはじき出せますか。

(出ますの声あり)

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 宇佐見課長。

○産業振興課長(宇佐見恭裕君) 需給調整米のほうは、27年度のほうは10アール当たり4,140円という形でお支払いして、総額が182万5,470で、28年度が需給調整米のほうは279万2,502円という形になります。

以上です。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の182ページ、上の6款の農林水産業費の4つ目ですね。単独土地改良事業排水路改修工事、小所地内なんですけど、これ、括弧のところは最初の契約が2,916万、これ、予定価格が2,991万6,000円です。途中で、これも工事変更、変更があって81万ほどふえております。それで、実質124.5%になって、プラス27%ほど工事がふえております。これは、変更に至った原因というのは何なんでしょうか。

○決算特別委員長(三浦桂司議員) 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長(鈴木英樹君) こちら、81万円増額になっております主な要因ですが、県費

の変更割り当ての増額によって、事業効果を高めるために延長を増したものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

（関連お願いいたしますの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 ということは、これ、104メートルとあるんですが、何メートルかが延びて104メートルになったということなんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） もともとは90メートルでございました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 何メートル。

○土木課長（鈴木英樹君） 90です。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 県費の変更割り当てがふえたということですが、これ、どの県費がふえたんでしょうか。割り当て、県費の割り当てがふえたということは、申し込みした県費の部分にプラスがついたということですよ。どの県費の部分がふえたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 決算書でいいますと、45ページの一番下段になります土地改良事業費補助金ということで、こちらが当初よりも20万5,000円ほどふえております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績の72ページの7目の地域農政推進対策事業費についてお伺いいたします。

この事業は主に、ここに書いてあるんですが、農業推進地域整備計画を策定したというふうにあります。本市の農用地面積、就業状況等についての基礎調査に基づいてつくったというふうにあるんですが、今、企業誘致の話も進んでいますし、宅地開発の話も進んでいます。この計画とそういった市のほかの都市マス等の計画との整合性というのはきちっととれているものなんでしょうか。そうだとすれば、それによって農地面積というのが

どのように減っていく、あるいはそのことについての計画上の課題のようなものが整理されていたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。28年度についての説明で結構です。
宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 実際に今回の計画の策定の中では、もちろん産業系の土地利用ということで話が湧いてはいたものですから、そちらの部分については約71ヘクタール部分が、今後産業系の利用が想定されるよというような構想の部分での協議までは行っておりますが、今回の計画には盛り込めなかったというか、あくまでも構想だよというような形で、決定ではないということで、構想で盛り込んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（宅地、宅地のほうの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、関連ですか。

○山盛さちえ委員 じゃなくて、答弁漏れで、宅地開発のほうはどうなっているのか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 宇佐見課長、答弁願います。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 宅地のほうは、こちらは区画整理のほうで行っていきますので、農振の地域からの除外ということは、現在では行っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

後藤委員、関連ですね。

後藤委員。

○後藤 学委員 こういった計画を立てる場合に、地域の意見を聴取されたかどうか。そういう意見を聴取した上でつくられたかどうかということと、それから、この結果について、縦覧、あるいは広報、そういった知らせるということについてはどのようなことをされたか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 後藤委員、先ほど来、一般質問系になっておりますので気をつけてください。

○後藤 学委員 いや、どのようなことをされたか聞いているので、一般質問ではありません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） わかりますけれども。

答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 計画を策定する基礎調査というのを27年度にやっております。その基礎調査の時点でアンケート調査は実施しております。

それから、策定後の縦覧について、策定前に縦覧をさせていただいて、その後は特に縦覧という形ではなく、来ていただければお見せはできるんですけども、まだホームページとかでは載せていないというような状態でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 ちょっと戻りますけど、先ほど需給調整米の件なんですけど、概要……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ちょっともう一度ページ数をお示してください。

○富永秀一委員 概要の70ページですけども、いただいた数字で確認をしていくと、ちょっとよくわからなくなってきた、この、私が書き間違えていなければ、需給調整米が44万935平米ですよ。この金額が、279万2,502円というのはことしと一緒ということになりますけど、すると単価が違っているのかなと。あと一般作物が、これが41万4,684平米だと、ちょっと数字が合わない。もう一回、これ、検算してもらったほうがいいかなと思ったんですけど。これ、面積がかなり狭くなっている割には、数万円しか下がっていないということになっちゃうので。10万平米ぐらい減っている割には数万円しか減っていないみたいな。単価がそんなに変わったかなって。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願いますが、すぐはじき出せますか。すぐできますか。できなかつたらできないで結構です。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） ごめんなさい。数字が、27年度の需給調整米のほうで176万9,913。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員、この数字について、何かその後の質問は。

（ごめんなさい。171万6,791です。ごめんなさいの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） すぐに。

○富永秀一委員 面積、そんなに変わっていないのにこんなに金額が違う。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 宇佐見課長、もう少し時間、かかりますか。

富永委員。

○富永秀一委員 すると、面積は、前44万平米で、今回が46万平米で、そんなに変わっていないんですけど、金額にすると100万ぐらい違ってきちゃっていますけど、需給調整米が。単価がそんなに変わっているの。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 需給調整米のほうの27年度のほうの単価が、平米当たり、ごめんなさい、10アール当たりで4,140円で値段が下がっておりますので、面積の割には下がっているかというようなイメージだと。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員、よろしいですか。

○富永秀一委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの農業振興地域整備計画についてですが、71ヘクタールの産業系……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数は。

○山盛さちえ委員 72ページ、72ページの農業振興地域整備計画についてですが、71ヘクタールについては今後の産業系の開発ということで、構想にとどめたということですが、この11月ぐらいに、地元に対して面積をふやすということも含めて説明に行くと。市の方針を固めて説明に行くというような説明が既にあったんですが、固まってくると、この28年につくった計画をまた見直さなきゃいけないようなことが起こるのでしょうか。そうなったときに、その見直しの費用というのが発生してくるのでしょうか。それとも内部でできるのでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度計画ですので、この今の質問は結構です。回答、回答は結構です。

ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 さっきの70ページの土地改良、だから、実績報告書の下から2つ目の土地改良事業費補助金ですけれども、これが大幅に減っているんですけども、書いてある内容は前と同じなんですけれども、これはどういうことで変わったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらは、請求があった事業費の電気料金とか補修費、使用料の20%以内ということで、請求があったのが電気料金のみであったということで今回下がっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 70ページにいろいろな補助金、農業振興の関係の補助金載っておりますが、昨年度も新規就農給付金、これがここに載ってなかったんですよ。そういうことを指摘しておいたんですけど、今年度もまたやっぱり載っていないんですけども、これはどういうことでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちら、対象が1人ということで、あえて載せずということで判断をしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 71ページのほうの農地費が200%となっているわけですけども、ごめんなさい、これはやめます。

別のにします。137ページ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 質問を精査してからお願いします。

○富永秀一委員 急がせるもので。ちょっと待ってくださいね。

137ページ、警備委託料、実績報告書の。警備委託料、前年度は長期継続契約をやめて、同じセコムに随1で契約をしたんですね。それはいいとして、28年度は随6で契約しているんですけども、これは競争入札にするのが不利だということですけども、これはなぜそういう判断をされたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちら、主に機械のほうのリース代ということになっておりまして、同じ機械をそのまま引き続き使うということで、そのままと、随6というような形で処理をさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 その実績報告書の138ですけども、排水機場残渣処理業務委託ですが、

これが2回、大久伝が入っているんですけど、ちょっと待ってくださいね、排水機場残渣処理業務委託、138、これが2回出てきているんですけども、排水機場残渣処理業務委託、上から3枠目と一番下のところですね。これが、2回とも大久伝が入っているんですけども、これはどういった事情から2回清掃することになったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちら、大久伝のほうは残渣がかなりたまってしまったので、追加で発注させていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の59ページの上から4つ目のところに太陽光発電私有地貸出事業地域貢献拠出金50万円というのがあるんですが、これは終末処理場の跡のところをお貸しして発電をしていただいている分かと思うんですけど、それで間違いなかったかどうか。そして、わかればなんですが、ここを50万円でお貸しして、どのぐらいの発電量だとかCO₂削減効果に市が間接的にそういった関与をしたかというようなことは把握していらっしゃるでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 民間の話ですので、今の質疑はちょっと不適切だと思いますので。

最初の質問で、50万の回答だけお願いします。

答弁願います。50万の貸出金、答弁願いますが。

相羽建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 直接的に、この管理につきましては私どもではないんですが、実はこの……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 総務。

○経済建設部長（相羽喜次君） いいですかね。

これはあそこの、あの場所を貸し出した、貸し付けたことによるプロポーザルをさせていただいて、いわゆる地域貢献活動として寄附をいただくということで50万というのがございます。そういう形の中を、私ども、これ、使わせていただいております。これ以外に当然のことながら、施設を当然持っておりますので、償却資産だとかそういう収入は市に対してあるということでございます。済みません、これ、直接的に私どもの関係ない部分でございますので、済みません、よろしく申し上げます。失礼し

ます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の182ページの単独土地改良事業排水路改修工事なのですが、これが、もともと落札率が97.5%ということもあって、その落札後に81万円上がって、結局予定価格よりも上がってしまっているんですが、これは落札後、どんな事情があって上昇しているのでしょうか。

（さっき誰か聞いたの声あり）

○富永秀一委員 聞いた。ごめんなさいね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員。

○富永秀一委員 これは次でした。ごめんなさい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて6款 農林水産費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について説明を願います。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、実績報告書の、済みません、7款を説明する、商工費を説明する前に、1点、77ページでございます。7款 商工費、4目 消費者行政推進費の記載金額に間違いがございました。お手数をおかけしますが、訂正をお願いしたいと思います。訂正箇所につきましては、その77ページ、上から5行目の消費生活相談員等謝礼の金額、81万円でございますが、これ、予算額でございます、75万円の誤りでございました。申しわけございませんが、訂正をよろしくお願いいたします。

それでは、内容につきまして説明をさせていただきます。

実績報告書の73ページをお願いいたします。

1目 商工総務費でございます。決算額は2,870万円の減額でございます。減額の主な理由といたしましては、地域活性化推進室の設置に係る人件費の増額があったものの、公共施設巡回バス運行事業の所管がえによる減ということでございます。この目の主な事業につきましては、新たに前後駅前活性化事業や地方創生推進交付金を活用いたしました本市のブランディングを進めるとよあけ花マルシェ事業に取り組みました。また、企業誘致や立地のための補助制度の創設も行いました。

74ページをお願いいたします。

2目 商工振興費でございます。決算額は約6,113万円の減額でございます。減額の主な理由といたしましては、国の地域住民生活等緊急支援交付金等を活用いたしました、いわゆるプレミアムつき商品券発行事業でございます。これが終了したものによるものでございます。この目の主な事業といたしましては、商工業の振興対策事業の小規模事業指導費補助金、これは商工会に対する人件費の補助、それから、商工業者の経営改善普及事業の支援を行いました。また、地域経済活性化事業費補助金では、御当地グルメや軽トラ市等の地域経済活性化事業に取り組んだ商工会に対しての助成を行いました。また、融資対策では、県と市の協調預託金の原資といたしまして、金融機関から借り入れ困難な中小企業者の経営改善を図るための商工業振興資金のあっせんを行いました。また、平成27年度からの繰越明許費で、新たに社宅整備補助や空き店舗活用事業費補助、市内中小企業の実態を把握するためのアンケート調査の実施や、事業承継や起業・創業者支援策としての講演会の実施、女性活躍推進のセミナー等の実施を行いました。

続きまして、76ページをお願いいたします。

3目 観光費でございます。決算額は約73万円の減額になっております。これも平成27年度から繰り越しをしました地方創生加速化交付金を活用いたしました観光関連事業に取り組みまして、一昨年、27年の地方創生先行型交付金との差額、約73万円ほどが決算額として減少しております。主な事業といたしましては観光協会に対して補助を行い、桜のライトアップ、それから、桶狭間古戦場まつりやイルミネーションなどに対しての助成を行いました。また、観光誘致イベントや観光協会ウェブサイトの構築、観光ポスターや桶狭間古戦場関連PRグッズの作成、レンタサイクルの整備、古戦場伝説地及び戦人塚等の案内看板を実施いたしました。

続きまして、4目 消費者行政推進費でございます。決算額は約30万円の増額でございます。増額の主な理由は、10月から消費生活相談日を週2日に拡充をしました。その消費者生活相談員の報酬の増額によるものでございます。この目の主な事業といたしましては、消費者相談の開催、それから、消費者保護対策を目的としました消費生活や悪質商法等の出前講座を開催し、高齢者等が被害に遭わないような周知、啓発に努めました。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の7ページをお願いいたします。

下から4段目、4つの箱でございます。商工費、商工振興費の委託料、これは繰越金でございます、262万3,400円は、27年度から繰り越した商工業振興事務事業で実施しました小規模企業実態調査委託料等の契約残でございます。その下、負担金、補助金及び交付金475万1,054円は、主に商工業振興資金の活用が予想より下回ったことによるものでござい

す。その下、負担金、補助金及び交付金、これも繰越分でございます。130万円は商工業振興補助事業で実施しました空き店舗活用事業補助金及び社宅整備支援事業費補助金の申請が予想より下回ったことによるものでございます。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 御苦労さまでした。

説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の77ページの消費者行政の推進費の消費相談のほうの30万上がったというところの説明で、10月から週2回、週1回から週2回に拡充して30万ふえたということで、相談件数が102件とあるんですが、27年に比べたら、そのふやしたことで何件から、27が何件かわからないものだから、その効果が、30万の効果が出ているかというのがちょっとわかりにくいんですが、まずそこを教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 27年度が80件で、今回102件ということで、若干は上向いておるといような感じでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連で。早川委員。

○早川直彦委員 これ、消費の相談は、どちらかというと高齢の方のほうが年齢として多いのか、また相談内容も、例えば詐欺的なものとか、電話の勧誘とか、何かそういう傾向というのは何かあるんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。余り踏み込まないようにお願いします。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 年齢も比較的高齢の方が多いというのもあるんですが、若年層の方が、いわゆるゲームの課金のやつで親御さんが御相談に見えるとか、多岐にわたっておる。基本的に一番多いのは、いわゆるスマートフォンのトラブル的なものが、比較的数量が多いのかなという傾向です。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の159ページの委託料に、とよあけ花マルシェプロジェクト委託料で90万円の流用というふうに書いてありますが、その理由を教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 花の街・豊明の事業が商工会のほうから市のほうで行うことになりまして、商工会さんからこちらに来たときの花の事業の実施をする原資が全くなかったということで、商工会のほうに補助として出しておった90万円を、花マルシェプロジェクトのほうに流用をさせていただいたというような形でございます。

以上です。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の73ページに、その花マルシェ事業のことについての説明があると思うんですが、この90万円は、この花の関係の事業でいくと、どこに使われたのでしょうか。わかれば教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 地方創生の交付金のほうの決定をいただいたのが12月ということで、実際にはお金がなかったということで、12月までの事業、それから、1月の28日の花検定までの事業はおおむね90万円のほうで活用させていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の73ページをお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） もう少しマイクに近づけてください。

○後藤 学委員 実績報告書の73ページをお願いいたします。ここで、先ほどの花マルシェプロジェクトと、それから、その上に駅前のイベントのことが載っておりますが、目的として、にぎわいを創出し地域経済を活性化するというのが目的だというふうに書いてありますが、にぎわい創出というのは、ここに参加者の人数が書いてありますのでわかりますけれども、地域経済を活性化するという点ですと、経済効果、これはどのくらいの経済効果があったのか、把握してみえたらお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） これは伺っておるところなんですが、1回あたりの開催で飲食物の、飲食品の売り上げがおおむね大体10万円ほどというふうなことを聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 実績報告書の76ページの一番下、桶狭間古戦場関連サイン設置工事とか観光用看板電柱取り付け工事等ですね。これ、具体的に、もちろん観光についての気合いとか力の入れる一点だと思いますが、どういうところにつけたか。僕、ずっとよく見てるけど余り感じない。済みません。ちょっと主観が入ってしまいましたが、どこにつけたか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。場所だけ。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） まず、古戦場の関連のサイン設置工事ということで、こちらのほうは古戦場伝説地のところに1つ、それから、戦人塚のところに2本立てさせていただいております。それから、その下の電柱取り付け工事というので、こちらのほうは電柱の袖看板、もしくは電柱への巻きつけ看板ということで、古戦場伝説地に4つ、それから、鷲之森碑に2つ、戦人塚に2つ、阿野一里塚に4つ、それから、二村山に2カ所、それから、沓掛城址公園に4カ所、一之御前安産水に3カ所、計23カ所となっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 実績報告書の75ページの4つ目、3つ目も関連するんですけど、4つ目、市内に従業員の居住を目的とした住宅を取得した事業者に対する補助金、これ、いわゆる社宅整備の補助金だと思うんですけど、ちょっと私の、すぐ忘れるけど、その記憶でいきますと、たしか27年度の予算のときの概要説明のところの重点課題に社宅の整備ということで大きく取り上げたと思うんですけど。それで、ここに実績が2件で20万とあるんですけど、この2件20万を、後ろのほうの170ページの補助金の明細を見ると、27年度の繰り越明許になっておるんですよ。ということは、20万というのは、27年度予算が28年度に繰り越しておるということていくと、そういう理解だと思うんですけど、ということ

は、28年度は全く実績はなかったという理解になるんですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 予算上ではなかったというような考えになるかと思うんですが、実際に要綱を出して募集しておるのは28年度にやっておりますので、予算については27の予算であったんですが、28年度は2件20万円というような考え方であります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 20万円です。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 2件20万です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） あったということですか。あったと。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 宮本委員、指名します。

宮本委員。

○宮本英彦委員 予算的には27年から回っておるんじゃないですか、これ。繰越明許になる。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 27年の3月の議会で、補正予算で繰り越しをさせていただいた予算でございまして、基本的には27年の補正予算なんですけれども、繰り越しで28年度に活用させていただいたというような考え方でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 活用があったわけですね。繰り越したの。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 繰り越しをかけておりますので。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） そういうことですか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、28年度の実績として2件の20万があったということで、そういう理解でよろしいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） そのとおりでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員。

○富永秀一委員 先ほど27年3月とおっしゃったけど、議会でいうと28年3月ですよ。

(ごめんなさい、済みませんの声あり)

○富永秀一委員　　ですよね。

(はいの声あり)

○富永秀一委員　　了解です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　ほかにございませんか。

郷右近　修委員。

○郷右近　修委員　実績報告書74ページ、商工業振興預託事業ですかね、これ。採用されたのが46件ということなのかなというふうに思っ見ていたんですが、申し込みがあった件数とか相談があった件数がわかるでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君）　基本的に、お申し込みをされた方というのはほぼこのまま、我々、申請をさせていただいておりますので、46件ということをお願いしたいと思ひます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員　先ほど決算の概要の7ページの不用額のところでの475万1,054円のところで、商工の振興の実績よりも、予定よりも少なかったとあります。融資を受ける方にとっては魅力的な施策の1つでもあるんですが、不用額が出ているということは、それを、融資を受けなくても実力があってやれるというんだったらいいんですけど、使い勝手が悪いとか、あとは周知がされていないとか、そういう部分のその不用額が出ているのか、そういう部分は28年で分析されたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君）　こちらのほうは、経済状況のこともございまして、なかなか伸びたり縮んだりということで難しいと思うんですけども、こちらの相談の構成比のところを見ていただく、用途別のところを見ていただくとわかると思うんですが、やはり運転資金というところが非常に高い数字となっておりますので、やはり景気は上向きとは言いつつも、なかなか設備投資には回らなくてというような感じで、全てのところをカバーできるかどうかは別にして、使い勝手がいいとか悪いとかというよりも、お困りの方は基本的にはお申し込みになられているのかなというような感じではあります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書の75ページ、お願いします。

商工業振興事務事業の下のほう、3番目ですね。学生が選ぶ豊明の企業15選、こちらに関しての配付部数、それがわからなければ発行部数で結構です。それと、あと、具体的にこれからこの事業によって何か効果が出たのか、わかりましたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうは全部で500部作成をしております。こちらのほうは近隣の大学に配架させていただいたりとか、掲載された企業様のほうでお配りをさせていただいております。特にこれをやってということで、今のところ、こちらには効果がというお話は上がってきておりませんが、比較的いい企画でありましたので、何とか、今年度はできませんけれども、次年度以降は続けていきたいなというふうに考えています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

後藤委員。

○後藤 学委員 75ページの今の商工業振興事務事業の1番目ですけれども、市内中小業者に対して実態把握を行うアンケート調査を行ったと、1,800社のうちの474社、大変たくさんの方が回答があって、内容はまちまちだろうと思いますが、このアンケート調査の結果、どういうことが見えてきたのかということがわかったら教えていただきたいと思います。

それから、ちょっと調べられなかったのですが、このアンケート調査結果はホームページで見ることが出来ますか。ということもあわせてお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 今回のこのアンケートでは、要は事業を継続していくかしていかないかというようなこともお聞きしております、みずからの代でお仕事をもうやめたいなというようなことは若干浮き彫りになったかなというふうに感じております。それから、やはり設備投資とかの支援のほうがいただければなというようなこともわかりました。

このアンケート結果については、ホームページのほうでは、ごめんなさい、掲載しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績の73ページの商工総務事務事業、駅活のことですが、これは300万円の補助事業のことだと思います。先ほど1回当たりの利益が10万円ぐらいだという説明があったんですけども、4回で300万円使って利益が10万円で、実際その300万円でこの事業が全てできているのか、持ち出しのようなものがあるのか。上がった利益がそのまま経費のほうに流れていってしまっているのかというような、その辺について説明をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 去年は、現場に行っていた方は御存じかと思いますがけれども、テーブルと椅子を購入しておりますので、そちらの購入費と、それから、あと、椅子とかテーブルを出したりしまったりというその人件費、それから、預かっている場所の預かり賃だとかというようなところはかなりお金が、去年は流れております。実際にその売り上げといっても、10万円のほうは売り上げでありまして、仕入れとかもございますので、基本的にはほとんど利益は出ていないというようなイメージであります。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。関連ですね。

○山盛さちえ委員 赤字にはなっていないということによかったですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 赤字ということは聞いておりません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく73ページの下の方のほうなんですけれども、先ほど上の4つの事業については流用の90万円で行った。下の2つ、プラス花マルシェ開発商品数3品と書

いてありますが、これが172万5,000円で行った事業ということになります、それで間違いなかったか。それから、上の90万についてなんです、いろんなセミナーがありますが、定員に対してどのくらいの、20人は何人定員で20人だったのかということを知りたいので、それぞれの定員がわかりましたら教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　じゃ、2点について答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君）　推進交付金をいただいた中で、その推進交付金のお金は3月の25日の花マルシェのイベントでかなり使っておるんですけども、その間に開発、要はエディブルフラワーとかを使った開発とかというようなところにも使用させていただいておまして、花マルシェのイベントでは一番金額を使っておりますけれども、その間、啓発的なものをつくったりとかというような形では使わせていただいております。

以上です。

ごめんなさい、それから定員ですね。香りリース講習会が20名中20名、それから、門松風寄せ植えが30名定員で31名をやっていたと。それから、花検定のほうは定員はございません。それから、フラワーバレンタインのほう、これが30名定員でございました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　ほかにもございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員　同じページですけども、先ほどの駅活イベントのお話で、売り上げとして10万円という話があったんですが、これ、そこから派生して市内に広くというところもたしか狙いであったと思います。タクシーも利用しやすしたりとか。そのあたりの経済効果は、計算はできていないということでしょうかね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　答弁願いますが、できない部分はできないと答えてください。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君）　当然、市内のほうに促したいということで、ワンコインタクシーという制度をやっておるんですけども、なかなかタクシーで動いていただける方が少ないというようなことは聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員）　ほかにもございますか。

郷右近委員。

○郷右近　修委員　実績報告書75ページです。ちょっと細かい話になるかもしれないんで

すけど、先ほど宮本議員が触れていらっしゃった市内の従業員の居住を目的とした住居の取得のことなんですけど、2件にとどまったのは、このときにちょうどそういうお話もあったかと思うんですけど、やはり年度がわりのタイミングでどうしても一番効果が大きいという話で、年度途中には余り、構えていたけど来なかったというような状況だったのか、そもそも豊明市の業者の方の様子が、既にもう定まった住居を持っているような方を採用しているような状況なのか、何かそういう傾向が見られたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうは新たにということで、社宅をという形でやっております、現在社宅として使っておるところは補助の対象にできなかったというところがありまして、新たに従業員のために部屋をお借りした方が対象になりますので、伸び悩んでしまったというところがあると思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の73ページの下のほう、地域活性化推進事務事業ということで、ここにいろんな補助制度の創設のことが、いろんなというか、3つほどどうたってあります。豊明市企業再投資促進補助制度とか、21世紀行動先端産業立地補助制度とか、中小企業の再投資というような、そういった補助制度が載っておるんですが、実績があれば多分補正で予算が上がってきただろうと思いますが、余り記憶がないので実績はなかったかと思いますが、もし実績があれば実績と、それから、このことに関して何か相談とか打診とか、そういったことがあったかどうか、お伺いしたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

秋永地域活性化推進室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） この3本の補助制度のうち、昨年度、平成28年10月1日に施行されたものが企業再投資促進補助制度というものでございまして、残りの2本は29年4月1日施行でございます。28年4月1日、ごめんなさい、28年10月1日施行の企業再投資促進補助制度につきましては、申請はありませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

○後藤 学委員 あと、済みません。そういうことについての打診とか相談もなかったということなんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） 昨年度はございませんでした。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて7款 商工費を終わります。

ここで、休憩及び理事者側の説明者の入れかえのために、10分間休憩といたします。

午後3時17分休憩

午後3時27分再開

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

8款 土木費について説明をお願いいたします。

相羽経済建設部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） それでは、8款 土木費の概要説明を実績報告書に基づき説明をいたします。実績報告書の78ページをお願いいたします。

1項1目 土木総務費でございます。決算額は、前年度に比べ約356万円の減額でございます。減額の主な要因につきましては、職員1名が正職員から再任用職員になったためでございます。

続きまして、2目 維持管理総務費でございます。決算額は、前年度に比べ約504万円の増額でございます。増額の主な要因は、前後駅のハトよけ対策を行い、ハト対策工事に関する負担金の新規計上によるものでございます。この目の主な事業は、道路台帳の補正業務で、三崎33号線ほか91路線の補正を行いました。

続きまして、2項1目 道路維持費でございます。決算額は、前年度に比べ約1,072万円の増額でございます。増額の要因は、委託料が増額になったためでございます。この目の主な事業は、調査測量委託業務等ございまして、橋梁定期点検業務委託、それから、橋梁補修設計業務委託を実施いたしました。また、道路維持修繕事業では、三ツ池高架橋の補修工事の実施などでございます。

次に、79ページをお願いをいたします。

2目 道路新設改良費でございます。決算額は、前年度に比べ1億5,632万円の減額でございます。減額の主な要因につきましては、前後駅北口広場の耐震補強工事の終了によるものでございます。主な業務といたしましては、区長要望工事が主なもので、合計16件を実施いたしました。

続きまして、3目 交通安全施設費でございます。決算額は、前年度に比べ約286万円の減額でございます。減額の主な要因は、交通安全施設整備工事費が減額となったためでございます。この目の主な事業は、交通安全施設の整備工事と修繕工事、合計65件を実施いたしました。

3項1目 河川新設改良費でございます。決算額は、前年度に比べ1,990万円の減額でございます。次の80ページをお願いいたします。減額の主な要因は、阿野平地土地区画整理事業にかかわる排水路設計業務委託及び排水路築造工事の完了及び河川改修工事が減額になったものでございます。

続きまして、2目 河川維持費でございます。決算額は、前年度に比べ約2,554万円の減額でございます。減額の主な要因は、西川公園地下調整池のしゅんせつ作業の完了及び河川等維持作業委託料が減額となったものでございます。主な事業といたしましては、河川維持作業、維持修繕工事、合計31件を実施いたしました。

同じく80ページの4項1目 都市計画総務費でございます。決算額は、前年度に比べ約1,284万円の増額でございます。主な増額の理由は、空き家対策実態調査委託料と親との同居・近居購入費補助金の新規事業によるものでございます。

この項は、主な事業は、建築開発等の受け付け、調査等事務、屋外広告物の審査、その他でございます。そのほか、木造耐震診断補助事業、それから、民間木造住宅耐震改修費補助事業で、耐震診断は30件、耐震改修費補助は11件、親との同居・近居購入費補助は70件ございました。

次に、82ページをお願いいたします。

2目 土地区画整理費でございます。決算額は、前年度に比べ約4,110万円の減額でございます。減額の主な要因は、阿野平地土地区画整理組合に対する補助金の支出が終了したことによるものでございます。

次に、3目 街路事業費でございます。決算額は、前年度に比べ1億1,440万円の増額でございます。増額の要因につきましては、桜ヶ丘沓掛線の道路改良工事が本格化しまして、工事量の増加によるものでございます。

また、桜ヶ丘沓掛線につきましては、工事費の一部、3億2,300万円を平成29年度に逓次繰越をいたしました。

次に、83ページをお願いいたします。

4目 公園事業費でございます。決算額は、前年度に比べて約192万円の減額でございます。減額の要因につきましては、唐竹公園駐車場整備工事が完了したことによるものでございます。主な事業は、二村山緑地整備事業、公園施設改修事業27件、また、公園施設維

持管理事業でございます。

5目 都市下水路費でございます。決算額は、前年度に比べて1,938万9,000円の増額となりました。これは、下水道事業特別会計繰出事業でございます。詳細につきましては、下水道事業特別会計で説明をいたします。

次に、84ページをお願いいたします。

6目 都市改造費でございます。決算額は、前年度に比べ686万円の減額でございます。これも有料駐車場事業特別会計への繰出事業でございます。詳細につきましては、特別会計のほうで説明をいたします。

次に、7目 緑化事業費でございます。決算額につきましては、前年度に比べ1,633万円の減額でございます。減額の要因につきましては、勅使水辺公園で27年度に行われました都市緑化フェアがなくなったことによるものでございます。主な事業は、緑化対策事業、花と緑の推進事業、緑化事務事業等でございます。フラワーボランティアさん233人によりまして、公園、駅前広場の花苗等の植栽をしていただいております。

次に、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の7ページをお願いいたします。

下から3段目、土木費でございます。道路維持費の委託料411万2,233円は、寄附受納予定をいたしました案件が不調、当期完了に至らなかったためでございます。その下、公有財産購入費500万円は、購入予定でありました道路用地の買収が当該年度で不調に終わったためでございます。その下、都市計画総務費負担金補助及び交付金119万4,000円は、親との同居・近居購入費補助金におきまして、7月までの申請状況から年間の申請件数を予想し補正を増しましたが、申請が想定には達しなかったというようなことでございます。

以上で8款の説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明が終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の178ページ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 実績報告書ですか。

○早川直彦委員 実績報告書の182ページ。済みません、私が言い間違えました。8款の土木費の中で、入札後の工事変更があつて100%を超えたものが3本ありますので、その3本について順次聞いていきます。

一番上の道路補修工事、これが契約が324万、予定価格が333万7,020円。これが工事変更が29万520円あつて106%、これもプラス8.7ポイントふえました。これと、もう一点が、道

路新設改良工事費のところの２段目、道路側溝改良工事。これ、契約が1,998万ですね。予定価格が1,998万2,160円、これが、工事変更があつて145万2,600円増額されて107.3%、7.3ポイントふえました。同じページの下から２番目、これも道路改良工事なのですが、契約が669万6,000円、予定価格が679万4,280円、これも18万4,680円の工事が増加されて101.3%、2.8ポイントほどふえております。この３つは予定価格より100%を超えたんですが、それぞれその超えた理由というのを説明してください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） まず初めに、道路維持費の上段の道路補修工事ですが、こちらのほうは、占用業者との現場協議によりまして舗装面積がふえたことと、あと、構造でのり面処理工をふやしたことによる増額でございます。

続きまして、下段の道路新設改良費の道路側溝改良工事ですけれども、こちらのほうは、既設の舗装厚が、掘削をしたところ、推定値では5センチだったんですが、結果的に10センチありましたので、2層の舗装工事に全て変更させていただいたために変更となっております。

続きまして、北上ノ山道路改良工事ですが、こちらのほうは、道路工事をやった影響で民地側に雨水が流入することがあるようになってしまいましたので、コンクリートのふたをグレーチングのふたに変更したことによる増額でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 3件とも、2件目、3件目は、アスファルトが5センチが10センチ、実際、掘ってみないとわからない部分、3番目のものは、グレーチングにしないと宅のほうに水が流れるということで改修して、やむを得なかったというのはわかるんですが、一番最初に説明があつたのは、これも、工事の業者との打ち合わせでやむを得ずそういう変更が必要だということでよろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 占用業者の管がありまして、そちらのほうの舗装復旧があわせて必要になったので、どうしても必要だったということです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。ありませんね。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の81ページの同居リフォーム促進事業補助金が2件だったということで、当初は10件だったかな、目標があったと思うんですが、ここがちょっと伸び悩んだのはどのようなことだったというふうに捉えていらっしゃいますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） なかなか、今昨今、3世代同居というのが非常に数も少なくなっておるとというのが現実でございますが、私どもとしては、こういう制度もございまして、しっかりと今後もPRをしていきたいと思っております。ちなみにですけど、29年につきましては、現在のところ3件ございまして、PRの成果が出たのかなというふうには感じております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 82ページのところですが、親との同居・近居購入費補助事業事務、70件ということで、これはたしか補正もされたような記憶がありますが、非常に件数が多くて、それはいいことなんですけれども、たまたま計画があつてこの補助を利用してもらっただけというケースもかなり含まれておるんじゃないかなと思うんですが、この補助制度が同居・近居に貢献した割合というのは、何か評価してみえますでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁できる範囲で結構です。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この同居・近居ですが、全部で70件あったわけですけど、市内から市内に移る方、それから、市外から転入されてくる方という件数が出ておりまして、市外から我が豊明市のほうに入ってきていただいた方が32件ございました。パーセントでいきますと46%でございますので、やはりこの補助事業の成果が出ているのかなというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 関連というか、1つ前のリフォームのほうですけれども、これ、こっちのほうになかなか伸び悩みがあるということで、PRをとということでしたけれども、たしか、前の予算のときだったか何かにも、要するに市外の不動産屋さんにもPRを協力しても

らうとか、そういう形でやると効果的なんじゃないかというような話をたしかした覚えがあるんですが、そういった工夫はされましたでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 現在、窓口に来た不動産業者さん等にはPRしておりますので。ただ、実際としては、なかなか成果が上がっていないというのが現実でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 実績報告書の83ページの公園事業費についてお伺いたします。

2つ目の公園施設改修事業27件で2,600万円余なんですけど、これ、予算と比較すると99.71%の執行率ということになっています。それから、その下の公園施設維持管理事業25件で7,280万円余なんですけど、これは同じように予算と比較すると99.99%、その下の維持管理作業委託についても99.02%、1個飛んで修繕費についても99.62ということで、維持管理は97.83なんですけど、いずれにしても非常に高い執行率ということになっています。この中で、工事費や改修の予算を持っていて、それをできるだけ必要なところに消化していくので執行率が高かったという部分については問題ないのですが、委託の場合は、入札をかけたかと思っておりますので、入札の結果が二十何件、五十何件あって100%に限りなく近いというのは、これはどういうことなのかなと。偶然にしても神がかっているなというふうには私は思ったので、このようなことが起こったのは、何か最初の予算、見積もりと、それから、入札と契約額というのかな、何か関係があるのかどうかを教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 特に関係というのはございませんので、私どもも、見積もりを出すときにしっかりと積算をして年度計画を組んでやっておりますので、その結果ということでございます。

以上で終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

○山盛さちえ委員 関連です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 今の私が幾つか申し上げた中で、事業費を消化していくというものの以外、入札の結果がたまたま99.何%になったというものがあれば、教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 少しだけお時間いただけますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、どこどこですか。

○山盛さちえ委員 83ページの……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 全てですか。

○山盛さちえ委員 今私が幾つか申し上げました、98.86とか99.71とか申し上げましたが、予算を使い切るという部分ではなくて、入札結果がこれだったということがあったら、その事業について教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） その事業を……。

○山盛さちえ委員 どれがそれに当たるかということ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 計画的に発注するものも当然ございますんですが、やはり維持修繕的なものもありますので、最終的に計画的なものを発注をします。残りの予算が当然ありますので、例えば、公園利用者の方々の要望だったり、我々がパトロールに行くと、どうしてもこれは修繕が必要だということを、それも単年度で直していきますので、予算を有効的に使わせていただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、予定価格とかがありますよね。それで入札結果が100%に限りなく近かったというものもありですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、入札結果なのか、ちょっとそこら辺の質疑を明確にしてください。

○山盛さちえ委員 だから言っているじゃないですか。委託の場合の入札ですよ。予定価格に限りなく近くて結果が100%になったというものがこの中にあるかどうかを教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 100%に近いものはございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） それを一つ一つ教えていただきたいということですが

か、山盛委員。

○山盛さちえ委員 一つ一つというか、今、私が申し上げた中で主なものがあれば教えていただければ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 主なもので結構ですか。

○山盛さちえ委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 主なもので答弁できますか。答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） シルバーさんのほうに委託しているものは100%でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） シルバーが100%で。ちょっと精査してください。

それ以外でちょっと質問ございますか。

後藤委員。

後でまたお聞きします。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 実績報告書の144ページ、145ページをお開きください。ここに公園事業の委託のほうがずっと書いてありますので、ここにつきまして、少額のもの、金額の安いものについては100%に近いものはございますが、例えば、144の下から3段目の公園管理委託その1ほか、こういうものにつきましては、金額も結構大きいものですし、入札をやりまして当然下がっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 入札をして下がっていると言われたので、入札の落札率がわかったら教えてください。それから、その隣のページにも、公園管理委託……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これは、公園に限りますね。

○山盛さちえ委員 同じです。145ページにも8とか7とかいろいろありますので、それもあわせてお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 少しお時間下さい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにこの件以外で。

後藤委員。

○後藤 学委員 こちらのほうで聞こうと思いましたが、実績報告書の83ページの5目の都市下水路費で、社会資本総合整備計画にはマンホールトイレ用の引き込みの下水の整備の計画が多分、5年ぐらいにわたってあったと思うんですが、28年度で何か進展した部分があったでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

花木下水道課長。

○下水道課長（花木喜久治君） こちらの都市下水路費につきましては、下水道特会のほうの繰り出しということでございますので、また特会のほうで御説明のほうを差し上げたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 概要の47ページの都市計画決定関連委託料、予算が299万6,000円あるんですけど、決算額が7万6,000円なんですよね。これ、28年度予算の事業内容の計画を見ますと、いろいろ書いてありますけど、適切に土地利用の規制・誘導を行うため調査検討を進めますという、抽象的なんですけど、ここのこの決算概要の事業概要でいくと、市街化編入箇所のカルテを作成しましたと。説明で間米ですという説明があったんですけど、そのカルテを作成することが目的で299万6,000円を予算化されたのか、あるいは、まだあるんですけど、とりあえずカルテしか作成できなかったのか、どちらなんだろうかね、これ。それか予算が多かったとか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

河北市街地整備推進室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） こちら、都市計画決定関連委託料につきましては、予算要求時には、市街化区域内の土地利用に関する調査、これを予定しておりました。ただ、愛知県が区域区分、いわゆる市街化区域と調整区域の線引きになります、こちらの総見直しというもののスケジュールを通常より早めて示されてまいりました。そこで、私も、この土地利用の政策の方針を少し順番を入れかえてというような形で今回の区域区分の見直しに合わせた作業を行うことといたしました。そのため、この間米南部地区のカルテをつくるということで、この当該金額を執行したということでございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の81ページ、真ん中のあたりにある木造住宅の耐震診断の補助事業について委託料を聞かせてください。木造住宅の耐震診断の委託料、28年度は30件、

これ、23年度だと82件、24年が50件、26年が46件、27が36、28が30と、大きな震災の後は多かったんですが年々件数が減っている状況。28年は30まで少なくなってしまったんですが、この数字はどのように分析しているのでしょうか。もうやり尽くしたのか、2順目にもうなっていて、この数字をどういうふうに捉えているのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この制度でございまして、昭和56年の旧耐震ということにして、昭和56年ですと、かれこれ40年近くたってございまして、新たに建てかえされるという方も実際多いと思います。そういう方も多いということで、数字的には余り伸びていないのかなというふうには思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございせんか。

早川委員。

○早川直彦委員 下にもつながるんですが、すぐ下の耐震改修の補助にもつながるんですが、耐震診断をしないとできない、これも11件、これももう、だんだんだんだん毎年数が少なくなっているんですが、昭和56年、もう40年以上たっているということで、なかなか数字には結びつかないというふうな解釈でいいのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） そのとおりだと思います。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございせんか。

早川委員。

○早川直彦委員 決算書の173ページに、耐震シェルターの設置補助金、ゼロ円となっております。これも多分今の質問の関連でいうと、その流れ、古い、40年以上たっているものを意識しての補助ですが、これもなかなか事業に結びつきにくいという解釈でよろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これも56年以前のものでございますので、なかなか結びにくいかなというふうには思っておりますが、28年の問い合わせ実績ですが、10件の方が問い合わせがございましたので、全然この関心がないというわけではございませんので、私どもは

続けてPRに努めたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 早川委員。

○早川直彦委員 先ほど、答弁の中で、10件シェルターについての問い合わせが28年にあったというんですが、木造住宅の無料診断とか受けている方で耐震のほうの相談も実際の件数はあったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 余り飛ばないようにお願いします。

答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 実際に相談もございまして、20件程度ということをお聞きしております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 実績報告書の80ページ、都市計画費の総務費ですが、すぐ表の下のところ、建築とか開発許可等のところね、これは、例えば4件、1件、63件、8件と件数が載っています。これは市街化調整区域でということであればいいですか。まずそれを。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。指名してからにしてください。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この件数は、市街化調整区域だけではございませんので、例えば、一番上の確認申請というのは、住宅のほうを建てかえるときに申請されるものですから、市街化区域でも市街化調整区域でもございますので、そればかりとは限りません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 それじゃ、一番多い63件というのは、市街化調整区域というふうに考えればいいですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。慌てないで結構です。答弁願います。課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これも、市街化と調整区域、両方ともになっております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の81ページをお願いします。下のほうの空き家対策関連事業のところですが、実態調査を480万ほどかけて行われたということですが、どういふことを調査してどんなことがわかったのか、簡潔で結構ですのでちょっと御説明をお願いしたいと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この調査でございますが、現場のほうに、212軒、出向きまして現場の確認をしました。それと、あと、アンケート調査を行いまして、それが946件、回答のほうは594件、約63%の回答率でございます。実態としましては、当然、先ほど私が言ったように、現場へ行って、どういう状況になっているか。例えば草生えになっているとか、ポストがいっぱいとか、そういうような状況の確認。それから、あと、アンケートでは、なぜ空き家になっているんですかだとか、今後、その土地をどうしたいんですかとか、そういうようなことについて調査をしております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 たしか空き家は1,300軒だか1,600軒だか統計上はあったと思うんですが、そのうちの212件というのは、どういうところを選んで調査をされたんでしょう。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） なかなか全市域を回ることができないものですから、家屋台帳だったり、あと、企業団の水栓の閉栓状態等を見まして、ある程度抽出をして現場のほうを確認しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 空き家対策の関連で、たしか予算のときには6人掛ける5回分掛ける5,000円という予算を立てていたと思うんですが、1回しか行っていないような形跡なんですが、この辺の事情を教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） ちょっと私ども事務局のほうの段取りのおくれにより結果的に1回になってしまったので、29年度についてはしっかり挽回できるように頑張っていくつもりです。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要の47ページの上のところ、都市計画決定関連委託料の先ほどのところなんです、予算額299万円に対して7万6,000円。7万6,000円を執行した理由は、間米のところを早めたということであつたんですが、残りの予算の290万余が消えちゃったのはどうしてだったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 先ほども御説明させていただきましたとおり、今回、市街化区域内での土地利用の状況の調査等については行わずに、区域区分の変更の手続、これは平成30年度末に都市計画決定をしていくものですので、そちらを優先させたということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 道路関係、大丈夫ですかね。先ほどのって、まだ回答、終わっていないですよ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 先ほどの山盛委員の回答がまだ終わっていないので、ちょっと後にしてください。

ほかにございますか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の82ページ、真ん中あたり、組合区画整理支援制度検討事業について伺います。これ、昨年度、この調査検討を行われて、実は情報公開請求したんですけども、その段階ではまだ余り公開できないということで大部分が非公開になっておりますが、これは、どの時点になればこういった調査の結果というのは公開されるのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 今後、組合区画整理事業支援制度の検討業務につきましては、この後進めてまいります組合への補助制度を検討していく中での資料となっております。ですので、その検討の取りまとめとして新しい補助要綱ができる段階ではおむねその当時の経緯もあわせて御説明できるかなと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございますか。

関連ですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 その補助要綱の案ができてから公開ということですか。できる前には公開はされないということなんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） その検討の過程でございますので、どうしても補助の要綱の内容と深く関連してまいります。ですので、途中でその情報が出るというのが、現時点で進めております区画整理の検討等にも大きく影響してまいりますので、御勘弁いただければと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 81ページの都市マスタープランの策定業務ですけれども、策定支援業務委託料が550万円で予算は680万円ぐらいだったので少し減っています。それから、空き家対策の委託についても、予算が520万であったので、485万ということでこれも若干減っているんですけども、それぞれについて内容を教えていただきたいのでお願いします。特に、人件費に当たる部分、策定とか調査とかに当たられた人件費、時間単価だとかそういったものがどのように積算されていったのかということに興味があるので、それがわかるような説明をお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） それでは、まず、都市計画マスタープランの策定支援委託料について説明をさせていただきます。

私ども、この都市計画マスタープラン、3年かけて策定を進めてまいりました。その中

で、過去2年、26年度、27年度で進めてきた部分もあわせて28年度の仕様というのを固めてまいりました。その関係で、当初、予算要求時の金額よりも少し精査をして、大もとの設計金額自体を若干落としているというのが1点ございます。

あとは、委託の内容につきましてというところなのですが、委託の特記仕様書の中で位置づけておりますのは、全体構想案並びに地域別構想案、これは都市計画のマスタープランの中にあるものですが、この修正精査、あるいは計画策定後の進行管理方法の案の作成、さらには、策定に係る職員の支援ということで、各種会議の記録作成あるいは資料印刷等がここに含まれます。そして、成果物であります都市計画マスタープラン、本冊が300冊と概要版が1,000冊ということで、これらの納品というところが内容となっております。

なお、委託業務に係りましては、その委託業者が具体的にどれぐらいの人件費をかけたかだとか、そういったところについては私どもで管理するものではないと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（空き家のほうの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤課長。何の回答ですか。

○都市計画課長（近藤 潔君） 空き家対策の関係ですけど、これについては仕様のほうは変わってございません。実際の入札の差額金でございます。

終わります。

それと、あと、山盛議員のさっきの質問が調査できましたので、よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 実績報告の144ページをお開きください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これは先ほどの山盛委員の回答ですね。

○都市計画課長（近藤 潔君） そうですね。

公園事業の下のほうの4目になります。指名の上から2つ目、公園管理委託の二村山緑地でございますけど、これにつきましては96%でございます。その2つ下になりまして、公園管理委託その1のほかというのが、これ、1から6件ございまして、順番に1のほうから申し上げますと、95.6%、その2が93.5%、次に、その3が95.5%、その4が95%、その5が95%、その6が95.2%でございます。

次に、145ページのほうに行ってくださいまして、上から5つ目になります。公園の遊具の点検になりますが、これにつきましては89.7%。その下、公園管理委託その7でございます。これにつきましては67.2%。真ん中あたりの砂場清掃作業でございます、96.5%。

以上でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 質疑。関連ですか、それは。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ここ数年間の実績報告書の、同じように公園の維持管理、樹木の剪定とか、それから、草刈りの事業費を比較したところ、27年度が6,960万円、26年が6,813万円、今、6,800万と言ったのが26年ですね。25年が6,320万、24年が5,400ということで、毎年のように樹木の剪定、草刈り関係の、いわゆる今言われたものも含んだ公園のコストが上がっていつています。若干その件数に動きがあるものですから一概には言えないということは承知しておりますけれども、人件費の上乗せ分6%と見たとしても、5年前と比べると、5,400万円が7,200万円になっているというのは、非常に大きく伸びているわけです。なぜこういうことが……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、ちょっと総括的になっておりますので。どこの……。

○山盛さちえ委員 ここの事業の部分。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 簡潔にちょっと質問をお願いします。

○山盛さちえ委員 でも、背景を言わないとわからないかなと思ったので。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これ、毎年上がっていますのでということ。

○山盛さちえ委員 なぜこういうことになっているのかということが非常に懸念されますので、その点についてお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 山盛委員の言われるように維持管理的な問題ですけど、実際、草刈りにつきましては、確かに人件費、当然上がっております。実際のところ、委員の皆様も御存じのとおり、草の生えるスピードというのもどんどん上がっております。あと、公園におきましては、一番大きいのが、公園全体の老朽化によります、施設だったり、排水施設とかもろもろありますので、その辺の費用もかさんでおるとというのが全体的に上がった理由でございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員 こちらの実績報告書の80ページ、先ほど聞いたところの、ちょっと納得できないのもう一度確認することと、つけ足して1つ余分な質問があります。

開発許可申請受理件数の63件というのは、市街化調整区域も市街化も含めてですか、両方ですね。はい、それじゃ、それ、確認しました。

そして、その一番上にある、4件というのがある、確認申請受理件数ですけど4件。いいですか。大体、開発許可をやると、常識的にですよ、普通は50坪ぐらいだったら50坪の開発とかをやって、その上に大体家を建てるとというのが普通の、いろんなあれはあるが、そういうふうに考えますと、家を建てると確認申請をとらないけませんね。確認申請が4件というのは、これは県のものじゃなくて、今、私的な機関によって確認がされるということになっておりますよね。それというのは、わかりますか、どういうところに出せばいいのかという。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 杉浦委員、確認申請ですか。

○杉浦光男委員 うん、そう。確認申請のほうに具体的には聞きます。さっきの63件の市街化と調整区域の両方だということは確認しましたので、今度、確認申請。お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 確認申請につきましては、今では民間の検査機関もございいますので、愛知県のほうには21の民間の受付所がございいます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の80ページですが、調査測量設計等委託事業桜ヶ丘沓掛線、これのボックスカルバートに雨水管渠を接続する検討に280万円、これはどういう、要するに、桜ヶ丘沓掛線については、今の時点でこれは考えなきゃならんことなんですか。最初の工事前ではなく、今の時点ということなんでしょうか。また、ボックスカルバートに雨水管接続というのは、どういうことですか、内容としては。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これ、28年度の予算ということで、答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらの調査設計業務なんですけれども、現在、桜ヶ丘沓掛線の中にボックスカルバートが入っております。内山地内に水路があつて、その断面が不足していますので、大脇館線の中に管渠を入れて、そのボックスに接続するという計画を28年度にしました。29年度にこれから実施のほうをしたいと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの81ページの空き家対策の委託の件でもう少し確認させてください。今、845万1,900円の内訳ですけれども、少し前の富永議員の質問に対しては、5回、6回やるところを1回だったという説明があったと思いますが、そうすると、作業量としては少なかったんじゃないかというふうに想像するんですが、予算が520万円で支払った決算額が485万円ということ。その差額が、回数が減ったということなのではないでしょうか。それが1点。

もう一つ。221軒の現場確認をしたりとか、それから、アンケートをつくって配布して集計したりという業務があったというふうに説明がありましたが、ここの部分についての人工代というか人件費というか、そういったようなものは何か比較したら……。例えば、土木の関係だと、何々の業務だと人工幾らとか、大体県の歩がかりというか、額がありますよね。そういうのと比較したときに、こういう計画策定とか調査に係る人件費というのがブラックボックスなのか、それともある程度明確になっているものなのか、そういったことをちょっと確認したいので教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員、表現に気をつけてください。

○山盛さちえ委員 いや、別に、見えないという意味で。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。簡潔にお願いします。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほど富永議員が質問されたのは、空き家対策等協議会でございます、調査ではないので。協議会が5回あるところが1回だったと。あとのものは委託でございますので、委託につきましては、我々も業者のほうから見積もりをとりまして、それを参考に積算をしまして入札をかけている。ですから、別物になりますので。終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 人件費の部分については、例えば、時間給であるとか、1日だとか、こういう業務に対してはこのぐらいの単価が妥当だというような、そういったものがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） それにつきましては、先ほども私申しましたように、見積もりを業者のほうから3者いただいております、そこの一番安価なところをとります。あと、山盛委員が言われる人工につきましては、国土交通省が出している設計技師とかい

ろいろ人工がございますので、それを採用しております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の81ページの上から2つ目のぼちですけども、建築相談委託事務ですが、これは前年の4件よりは8件と上がってはいるんですが、相変わらず、やっぱり月1回、特定の曜日という方法をとられていて、これまでも何度か、例えば、予約を受けて、そこにその日にスケジュール調整していくというふうにすれば、利用者からしても利用しやすいし、本当に意味のある制度になるんじゃないでしょうかということも申し上げているんですが、そういう検討というのは、28年度においては行われたんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 28年度につきましては、たしか富永委員から9月だったですかね、そういうような御質問がございまして。

（前の決算のときかなの声あり）

○都市計画課長（近藤 潔君） 実を言うと検討はしておったんですけど、1年おくれですが、29年からはそのように今改めておりますので、そういう結果でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 84ページのフラワーボランティアのことについてお伺いします。先ほど、ボランティアさんは233人というふうに御報告いただいたと思いますが、フラワーボランティアの研修会に参加された人は23名というふうになっています。これは、新しくボランティアさんになられた方に限定して行うようなものなのか、それとも、10分の1しか参加者がいないものですから、ちょっとこの辺についての説明をお願いいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これにつきましては、代表の方とかいろいろな方に御連絡をしまして、参加できる方ということで応募していただいております。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 研修内容についてお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 28年度は、浜松フラワーパークのほうに行ってまいりました。それで、実際、色とりどりの花を見てもらって、例えば、当然、浜松フラワーパークですと規模も相当大きいものですからいろいろな花が見れるということで、そこで見て勉強していただくということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 80ページの河川維持費の中の1番目の河川維持作業、21件、約1,000万についてですが、その上の文章で書いてありますように、河川及び排水路の断面を確保し、家庭雑排水または雨水の流下能力を最大限に発揮させるため、草刈り等の作業を行ったというようなことなのですが、実際に市の管理の河川で土がたまって、そこにまた草が生えて、河川がほとんど草で埋まっているみたいな、夏場になるとそういうふうな状況になっているところが結構あるんですが、これはどういう計画、例えば、何年かに1回は河床整正とか、あるいはしゅんせつとかを行うとかというような、そういう計画はないのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これは市の河川だけで結構ですね。

○後藤 学委員 はい、市の河川。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらの河川維持作業に関しては、ほとんどが排水路の作業が主で、今、議員が言われるように、河川の計画は現在持ち合わせておりません。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の79ページの3目の交通安全施設費について聞かせてください。たしか平成24年か25年に、子どもの交通事故がきっかけで補助がつくようになって、学校の先生方とか区長さんで通学路を見て安全対策をしようということが多分続いているんじゃないかなと思うんですが、28年度に関して、この整備、施設の整備工事は27年度と比べて376万ほど減っていて、件数は3件ふえているんですが、修繕工事のほうは逆に90万ほどふえていると思います。件数も多いんですが、主にどういう部分にカーブミラーをつけたりとか、歩道のところに例えば色をつけるとか、どういう部分の安全対策を行った

んでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） カーブミラーの設置については、各区長さん、町内会長さんからの要望によって、必要があるところに設置しております。あと、カラー舗装については、交通安全施設でやる部分もありますが、ほとんどが道路改良新設工事のほうで、道路改良にあわせてやることが多いです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 こちらに3目についている部分で行った安全対策というのはどのようなものがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらでやったものが、区画線の設置、防護柵の設置、ラバーポール、標識等の設置、あと、先ほど言いました、カーブミラー25基をやりました。カラー舗装は234平米実施しました。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の183ページです。一番下だと思いますが、市道大久伝25号の工事についてなんですけれども、これが、入札が5月16日に一度行われているんですけど、このときが、全者辞退、5者とも全者辞退で取りやめ、中止になっているんですね。その後、入札をした形跡が幾ら探してもないんですが、指名競争入札をしたという形で工事が行われているんですけれども、これはどういう事情でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 多分、不落になったものが、今、議員が言われた一番下の国庫補助ではなくて、上から4段目の道路改良工事、栄町南館ではなかったかと思うんですが。

（ああ、そうか。4つ目のやつかの声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） ええ、そうですね。

(そっちのほうかの声あり)

○土木課長（鈴木英樹君） これについては、設計時点でプレキャストL型擁壁併用の側溝を施工する予定で、ちょっと特殊な工法を選定しました。そこで入札に応じる業者がなく、不落になってしまいました。そこで、設計の見直しをしましたところ、250万以下の設計になりましたので、指名に変更して実施してこの結果になっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 指ということは、指名競争入札はしたんでしょう。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 指名競争入札をしました。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 一応検索をすれば出てきますよね、工事の入札結果って。それが、1回目の不落になったのは出てくるんですけど、その2回目をやった形跡が、どうも探しても見つからなくて、それでどういうことなんだろうと思ったんで、指名競争入札をやれば、当然出てきますよね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは250万以下になりますので載ってきません。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 では……。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ページ数を。

○富永秀一委員 実績報告書の141ページ。この中の排水施設等維持管理業務委託というのが、前の年にはなくて、これ、道路維持費の中の5つ目ですか、道路維持費の中に排水施設等維持管理というのがあって、しかも、トンネルなどの照明施設の年間管理とあるんですけど、これが、道路維持管理だけでも排水施設で、しかもトンネルの照明の管理というのがちょっとよくわからないんですが、これはどういう業務なんですか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらの業務は、平成27年度までは河川維持費の中の排水施設等維持管理で一括で河川費で払っておりましたが、業務の中に道路部分もありますので、施設の案分で道路費と河川費に分けて計上させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 183ページの大幅減額になっているやつ。一番上かな、これが入札した金額から大幅に減額になっているんですけれども、270万。これがどういう事情でこれだけの減額になったのか教えてください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 国庫補助の橋梁補修工事ですが、当初、仮設工について、高所作業車が進入できないということで足場を組んでおりましたが、実際に現地や市場調査をした結果、クローラ式の高所作業車なら現場に入れるということがわかりましたので、足場工及び通常の高所作業を方法を変えてしましたので、大幅な減額となりました。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで、理事者の説明の入れかえのため、暫時休憩といたします。速やかにお願いいたします。

午後4時27分休憩

午後4時32分再開

○決算特別委員長（三浦桂司議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

9款 消防費について、順次説明をお願いいたします。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） それでは、歳出、9款のうち、消防本部所管部分の概要について説明をいたします。

実績報告書の85ページをごらん願います。

1目 常備消防費の決算額は、執行率で98.1%、前年度比約1,188万円の増となっております、

主な変動要因は、職員増並びに給与改定及び定期昇給等の給与異動に伴う人件費の増によるものです。主な事務事業として、火災予防事業では、防火査察、建築同意といった予防事務、町内会、各種事業所等を対象とした訓練事業、及び高齢者宅への防火訪問を行いました。また、火災発生件数は前年度比2件減の20件で、内訳は、建物火災4件、車両火災3件、その他火災が13件となっております。

次に、救急活動事業では、救急救命士1名を養成しました。救急出動件数は前年度比124件増の2,959件で1日平均8.1件となり、急病、一般負傷及び交通事故で全体の88.1%を占めております。また、市民や各種団体等を対象に心肺蘇生、AED取り扱いを主とした普通救命講習、救急講習をあわせて128回実施し、全体で4,921人の方に受講をしていただきました。

消防職員教養研修事業では、愛知県消防学校等に13名派遣しました。

次に、次ページの上段をごらん願います。

警防・救助・救急用資機材を整備する消防用備品整備事業及び消防協力関係機関の育成に資するための危険物安全協会等育成事業がございます。

続きまして、2目の非常備消防費は、執行率94.8%、前年度比約137万円の減となっております。退職者数の変動による退職報償費の減が主な要因でございます。主な事業といたしまして、消防団等育成事業及び消防団活性化事業がございます。こちらに記載の事業につきましては、前年度と同額または算出基礎数値の変動に伴う若干の変動があるものの、その内容に大きな変化はございません。

次に、3目の消防施設費は、執行率で98.7%、前年度比約1億2,087万円の大幅な減となっております。この減額の要因でございますが、27年度の消防庁舎屋根防水等改修工事、救急消毒室建設工事及び小型はしご車初め消防車両3両購入といった事業が完了したことによるものであります。

消防施設設置事業としましては、防火水槽の新設が1件、高規格救急自動車の購入、コンビニエンスストアにAEDを設置いたしました。また、あんしん電話発信地表示システムの改修工事を初め、5つの庁舎設備等の工事を実施しました。

なお、委託事務事業の詳細につきましては146ページから147ページに、補助事業等実績については172ページに、主要工事等実績については185ページ中段に記載してございますので、お目通しをお願いいたします。

引き続きまして、不用額の説明をいたしますので、決算の概要の7ページをごらん願います。

下から10行目になります。常備消防費におきまして需用費217万円余は、光熱水費と燃料

費が主なものです。その下の行、非常備消防費において、需用費112万円余は、修繕料が主なものでございます。

前ページの流・充用額につきましては、記載すべきものはございませんでした。

以上で、消防本部からの説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

吉井市民生活部長。

○市民生活部長（吉井徹也君） それでは、9款 消防費のうち、防災防犯対策室所管の御説明をいたします。

実績報告書の87ページをお開きください。

上段、4目 災害対策費であります。9.1%、180万3,000円の増額となっております。これは、住民に対する災害時用の非常食の増強によるものが主な原因であります。事業といたしましては、平成28年8月21日に中央公園等で、市民の災害に対する意識の高揚と、防災関係機関と災害時の協力体制を図る目的で総合防災訓練を実施しております。また、11月18日には、星城高校にて、星城防災フェスタを実施いたしました。

以上で説明を終わります。

続いて、不用額の説明に参りますので、決算の概要の7ページをお開きください。

下から2段目の消防費、その中の3こま目、災害対策費の需用費100万4,044円であります。これにつきましては、災害用の備蓄のものにつきまして計画的に買ってございまして、その中で入札をした結果、100万のうちの86万が入札の差額であるということでございまして、これにつきましては、足りないものをどんどん補充をして、それを充てて買うという方法もございしますが、計画どおりの執行というところで、これについては補正減をすることなしに不用額という形になっております。ただし、備品等々の修繕がある場合もございしますので、これを補正をすることなしに100万余の不用額ということで残しております。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は、ページ数を示して挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 85ページの下の方ですね、救急活動事業の救急出動の件数が、昨年と比べて、28年度は27年に比べて124件ほどふえております。これも毎年若干ずつふえていく傾向があるんですが、救急出動に対して、若干ずつふえているんですが、どういう疾患のものでふえているんですか。逆に、誤報とか、本来であったら救急車を呼ぶ必要のないのに

というものもふえてきているのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） まず、どういう疾患が多いということですが、やはり高齢者の方はなかなか症状がわからないというような、そんな患者さんが多いので、具体的なものはございませんが、急に意識を失ってしまうというようなケースで体調不良と呼ばれるケースが多く、不適切な利用というところにはまでは断言できない部分が多いのかなと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。早川委員。

○早川直彦委員 救急出動の2,959件のうち、実際に市民がCPR、心肺蘇生法などを行ったという件数は実際何件あるのでしょうか、2,959件のうちに。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 救急隊が心肺蘇生を行ったという事案が50件ございました。その中で、一般市民の方が心肺蘇生を行っていたというのが18件でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 同じく救急活動事業の中で、救急救命士を1名養成したというふうに報告がありましたけれども、現在、救急救命士は何人いらっしゃるか。そして、その方々が勤務中に常勤できているかどうか教えていただけますか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 救急救命士の有資格者数でいきますと26名になります。それで、実際に救急車に乗っている救急救命士の数といいますと、私どもは運用救命士と呼ぶんですが、18名ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 わからなければいいんですけど、わからないんでいいんですけど、救急出動件数が館区が一番多いんですけど、館、阿野、前後、三崎、ここが200件以上を超

えているんですけど、先ほどの救急出動は高齢者が多いということであったんですけど、この多い理由というか、特徴的な何かがあるんですかね、これ。勅使台がたった14件しか救急車が出動していないという。人口が少ないということもあるかと思うんですけど。なぜ館が多いんでしょうか。清水さんに聞いたほうがいいのか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 今、少しお声が上がっていたんですけども、やはり人口が多いということです。人口の多い順に準じていますし、それに伴いまして高齢者の人口も多いというのが特徴でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 常勤ということについても一度確認だけさせていただきたいなと思うんですけども、救急救命士の方、18名ということなんですけれども、南部とあわせても毎日必ずお一人は救急救命士の方がいらっしゃるというふうに考えていいんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 最低の救急救命士の人数でいきますと、救急車の台数にあわせていますので、本署のほうで2台で2名、南部出張所は1台ですので1名というのが最低の人数としております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 決算の概要の48ページをお願いします。コンビニエンスストアのAED設置事業をお願いします。ここに、設置したのはコンビニエンスストア30台分の金額とありますが、これは、市内のコンビニエンス、24時間営業のところ全部なのかということと、それから、設置した後、このAEDを活用したという実例はあるか、をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 28年度分をお願いします。

○近藤千鶴委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 豊明市内のコンビニエンスストア、24時間営業30店舗全てに

配置をしております。

それから、このAEDを使った実績ということなんですけども、昨年度は、1件、救急隊が到着までに市民の方がAEDを使って電気ショックを行っていただいています。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 そのコンビニエンスストアのAEDですけども、これ、そうすると、全店舗ということは、予算時点では35店舗だったのが30店舗になったということかなと思うんですけども、その金額が、当初予算だと126万円だったんですが、これは決算のところでは金額が変わっていますよね、合っているか。これ、実際、決算では54万4,000円になっていて、これが、決算書のほうの185ページの真ん中あたりにある消防施設設置事業の2つ目では、AED借上料73万ということになっているんですが、これはコンビニ以外も含まれているからということですか。台数のずれというのはそういうことですか。あと、決算額と、要するに35台の予定が30台になった割には金額がかなり下がっているんですが、このあたりの事情の2つ。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 2点、答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） まず、48ページに関しましては、これはコンビニエンスストアだけの金額になっていますので、決算書のほう、こちらのほうは40器分ということになっておりますので、その差でございます。

それから、48ページですけども、当初予算額から大きく減っているということなんですけども、これに関しては、台数が5台減ったということと、35店舗を見越していたんですけども、契約のときには30店舗に減っていました。それから、あとは、競争が働いた企業努力ということでございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の172ページ、4目 災害対策費の一番下の欄にありますコミュニティー助成金190万円についてお聞きします。こちらのほうは、昨年度まではなかった新規なんですけども、宝くじのコミュニティー助成金とはまた違うんでしょうか。初めてなのでちょっと説明をお願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） この助成金につきましては、宿町内会の自主防災会が設置されました防災倉庫への資機材、例えば、発動発電機であったりかまどなど、そういったものを宝くじの助成金を使って配備をしております。自主防災組織用の助成金ということでございますので、他の用途のものでは使えない、そういった助成金となっております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

○ふじえ真理子委員 はい。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 これ、今まで私が見落としていたのか、昨年度の実績報告書にはこういった災害対策費の中でコミュニティー助成金というのはなかったんですが、これは、今後必要であれば、そういう手挙げ方式で申請できていくものでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 余り今後のことは話さなくて結構ですけども、答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） これは、毎年、応募があれば参加できるというものでございますので、そういったお話があれば、また相談していただければというふうに思います。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の147ページ、真ん中より若干上なんですが、消防団員の健康診断の委託について聞かせてください。28年度、22名だったんですが、これも、23年から33人、24年が28、25が26、27が28、28年度は22とだんだん減っていく傾向にあります。これは毎年決算のときに質問しているんですが、たしか、受けやすい日にちを設定したりとか周知に力を入れているというふうなんですが、実際のところは人数が減っているんですが、働いている方は、労働安全衛生法で企業で健康診断をしていると思うんですが、ほとんどの方が働いていて、会社や事業所で受けているというふうに解釈すればよろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） そのとおりでございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。早川委員。

○早川直彦委員 100%行かないとしても、団員の方、健康管理も必要ですので、100%に近いぐらいは受けているというふうに解釈してよろしいんですかね。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） それは被雇用者の方ということですか。

（あわせてね、団員全員ねの声あり）

○消防総務課長（稲垣 聡君） そのとおりだと思います。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の86ページ、3目 消防施設費です。地震等に耐えられる耐震性の防火水槽が1件新設されて、これで合計で何個の耐震性がある防火水槽が備えられたことになったのでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 決算書の181ページの光熱水費ですけれども、先ほど、不用額でも上がってきましたが、予算で1,000万を少し超えるぐらいの予算に対して執行額が656万円、流用も出ているんですが、非常に執行率が低いんですが、何か特別なことがあったのでしょうか。65%の執行率について説明してください。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） これは、災害発生時とか地中熱稼働に伴う予備として残しておいたためでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 済みません、ちょっと今、意味がよくわからなかったもので、もう一度

お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 稲垣消防総務課長、もう一度お願いします。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 災害発生対応、それから、地中熱稼働に伴う予備として残しておいたためでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 執行率が低いのは、予備費として残しておいたという答弁でよろしいですか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 済みません、地中熱の部分については、それは省エネに寄与していると思うんですが、当初予算はそれを最初からわかっているわけで、1,000万円ぐらいの水光熱費が要するというふうに見込まれたのですよね。今の災害用と言われるとよくわからないんですが、とするならば、災害で水光熱費がどのように発生するというふうに想定されて、幾らとおかれたのか、お願いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 済みませんでした。まず、3月補正をした上で、その上で予備費として突発的な災害対応をするために残したものです。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 今、課長のほうから説明ございましたように、3月補正で補正減をしております。ですが、補正減をやるに当たって、ぎりぎりいっぱい補正減をするのではなくて、補正予算を、積算後の期間において大規模な長期にわたる災害があったときに光熱水費分の相当分を確保しておきたいのということで、相当分を残した形になると、こういうことでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 実績報告書の87ページ、災害対策費をお願いします。最初の災害対策事業のところに、福祉避難所に要配慮者のための避難所用備品を配備したというようなことがかいてありますが、この福祉避難所というのは、福祉施設等だと思いますが、どういう施設が今何カ所ぐらいあるのか。それから、今回、備品を配備したということは、さらにその避難所がふえておるんでしょうか、お伺いします。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 福祉避難所につきましては、まず全ての豊明市立の保育園10カ所、それに、どんぐり学園、それに、福祉体育館、以上の12カ所を要配慮者の優先避難所というふうに位置づけております。に加え、特別養護老人ホームあるいはグループホームなどの民間施設11施設を要配慮者の専用避難所として位置づけております。

備品については、豊明市立の保育園については既に配備済みでございます。今後、福祉体育館であったり、民間施設のほうにも、例えば、車椅子であったり、簡易ベッドであったり、間仕切りであったり、そういったものを順次配備する予定としております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 間もなく5時になりますが、委員にお聞きしますが、あと何問ほど質問がございますか。時間延長するなり、ここで切るとまた……。週をまたぐことになりますので。ちょっとその点をお聞きしたいと思いますが。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 時間として何分ぐらいで、わかりませんか。これ、消防が、一回帰って、月曜日にまた来ないといけないことになりますので。もしそれであれば、時間延長してでも消防だけ終わりたいと思いますので、それでよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 富永委員。

○富永秀一委員 先ほど、消防庁舎の地中熱のお話ですけど、だから、決算書の181ページの光熱水費が251万下がっているという話なんですけれども、これのうち、どのぐらいが地中熱利用による効果なのか、要するに、款が違いますけど、別のところでたしか200万ぐらいかけて実績報告書みたいなのを国に多分出していると思うんですけど、それを出してもまだ十分効果があると言えるぐらい、要するに、普通はこのぐらいかかるのに地中熱だとこれだけ下がったということが、年間でどのぐらいという効果が示せるかどうかということですけど、どうでしょう。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） まず、下がった金額ですね、ほぼほぼガスの値段でございます。それで、27年度と28年度の光熱水費の比較でございます。ガスで見ますと、ガスが安くなったのが、棒読みしますね、マイナスの235万3,473。235万3,473円、これが、いろんな部分があるからね、何とも、例えば温度の変化とかいろいろありますけども、地中熱に

変えたことによって効果は間違いなくあったということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 実績報告書の147ページの災害対策費の真ん中のあたりの善意の井戸について聞かせてください。これ、34万5,600円あるんですが、水質調査は実際何件されたのでしょうか、28年度に。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 災害時協力井戸につきましては、市内で現在74カ所ございます。その74カ所のうち、毎年20カ所を順番に抽出させていただいて検査をしております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

関連ですか。早川委員。

○早川直彦委員 衛生費から、これ、消防費にかわったんですが、消防のほうにかわっても、従前の使い方というのは全く変わっていないでよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 変わっておりません。

終わります。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 実績報告書の146ページです。下から7つ目かな、電話設備の保守点検委託なんですけども、これが5割ぐらいふえているんですけども、これはなぜそれだけふえたのかという事情はわかりますでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） これは、27年度に契約いたしまして、27年の8月から28年の3月までの8カ月分です、27年度は。28年度は、28年4月から29年3月までの12カ月分ということで、その差額が出ております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 その次に147ページのほうですけれども、空気呼吸器及びガス検知器、これと、その1つ下の化学防護服の何たらかんたらというこれですね。これが前の年は1つだったのが、これ、分けられていて、あわせて考えると77%増になるんですけれども、これはどういう事情でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

毛受消防署長。

○消防署長（毛受淳一君） 当初は一緒に実施する予定だったんですけども、業者の都合で化学防護服に関しては約1カ月ほど待つてほしいということがありまして、空気呼吸器のほうを先に実施をさせていただいております。

それから、化学防護服を使う際に使うガス検知器、これをセットで後ほど出しております。金額がふえたことに関しましては、平成27年にガス検知器を2基購入しておりまして、その2基分をここで新たに点検を実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

先ほどの山盛委員の答弁ですか。

（いや、耐水性防火水槽の数ですの声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 耐水性防火水槽のほう。稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 76カ所でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書のほうの34ページですが、34、35の消防手数料ですけれども、これが前の年より36%増になっているんですが、手数料が上がったとか、範囲が広がったとか、あるいは危険物施設がふえたとか、どんな事情で上がったんでしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 増額の理由としまして、件数は前年度とほぼ同じでありましたけども、前年度は小規模の変更が多かったのに対しまして、28年度は、変更許可だけではなく新設の設置許可申請が多く、変更に比べて新設のほうは手数料が倍になることから、増額の理由でございます。

以上です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 決算書の181ページです。事務研究費等負担金、真ん中よりちょっと上のほうですね。常備設備何たらの1つ上、事務研究会等負担金ですが、これが5.2倍になっているんですけど、予算からも3倍以上になっているんですけども、これはどういう事情でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 現在進めている消防広域化の教育に伴う消防力適正配置等調査業務委託費用の負担金です。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 183ページ、非常備消防活動事業の消耗品費、真ん中、需用費の一番上かな、これが84%ふえていて、予算のときには手袋、ゴーグルなどを買うというのをメモしていたんですけど、その予算よりもさらに40%ふえているんですけど、これはどういう事情でしょうか。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 消防団加入促進事業のものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（三浦桂司議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（三浦桂司議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

以上で本日の決算委員会を終了しますが、10款以降、総括質疑、特別会計、これ、来週11日に開催いたしますが、これ、時間延長してでも11日に終わらなければ、9月議会の日程追加または会期延長ということになりますので、議員各位、職員各位も、協力のほどよろしくお願いいたします。

では、本日の決算委員会を終わります。ありがとうございました。

午後5時7分閉議